

目次

■ 各部の名称とラベル類の貼付位置・付属品	1~2
■ ISOFIXでご使用になる場合 (別売品のシートベースが必要です)	4~30
■ シートベルトでご使用になる場合	32~56
■ お手入れ方法	57~61

1 各部の名称とラベル類の貼付位置・付属品

ご使用前の点検

箱から取り出した後やご使用いただく前には必ず次の点検を行ってください。

①チャイルドシートや付属品およびシートカバー類が揃っているかご確認ください。

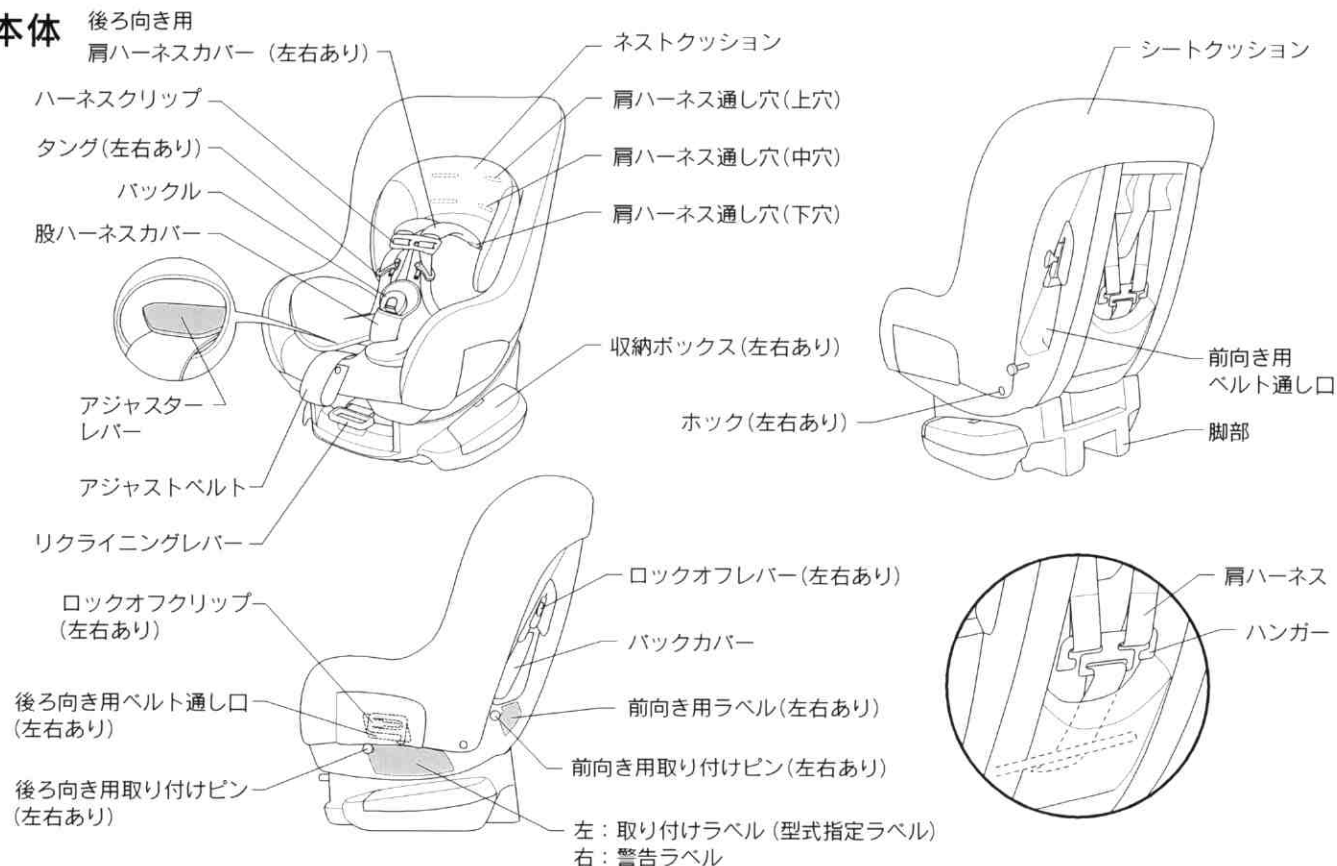
②チャイルドシートや付属品およびシートカバー類に破損等がないかご確認ください。

●上記点検を行った際、欠品や破損等ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店、もしくはお客様相談センターまでご連絡ください。

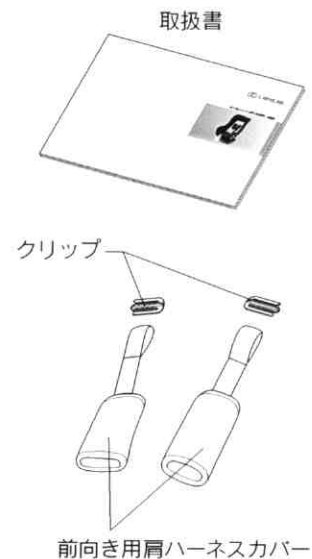
また、ご不明な点がある場合や故障、修理の際も同様にご連絡ください。

チャイルドシート

本体



同梱されているもの

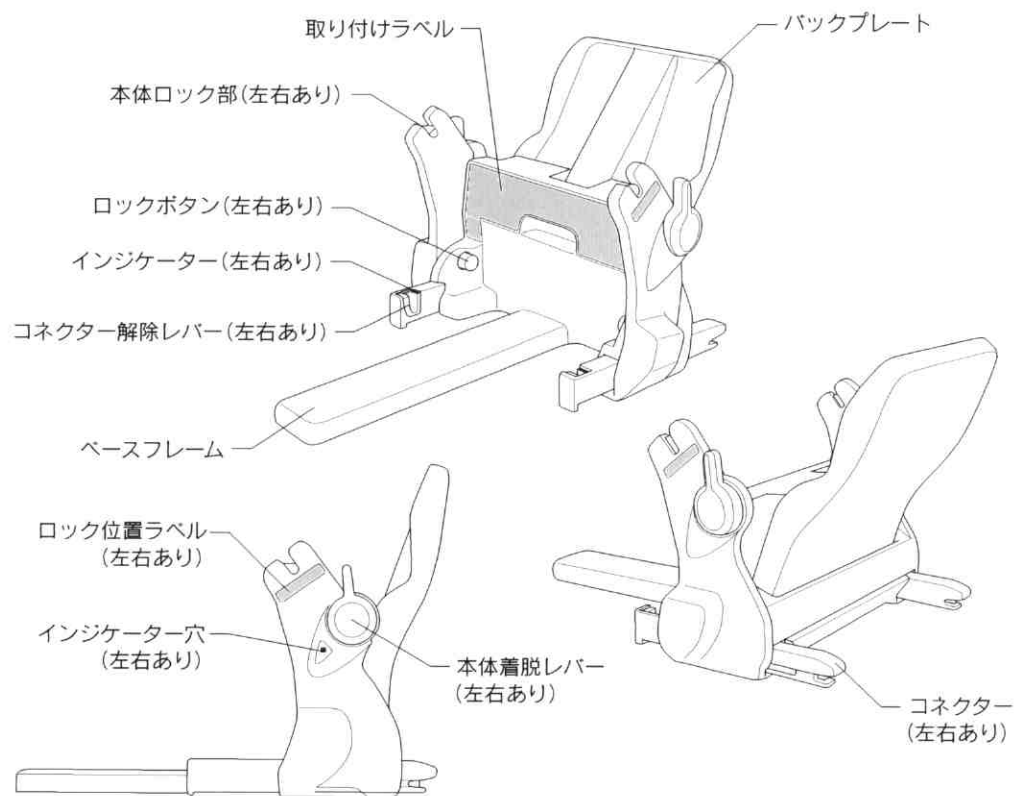
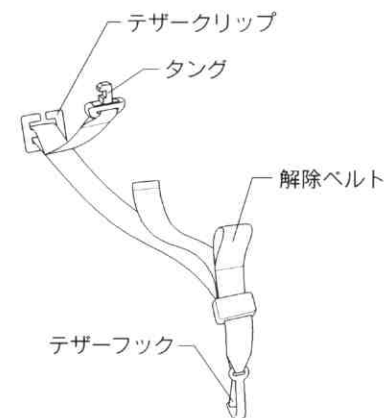
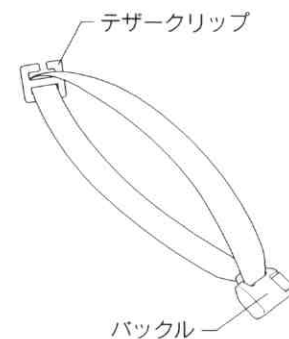
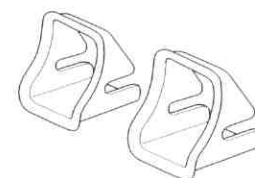


取扱書、クリップ、前向き用肩ハーネスカバーは、本体の収納ボックスに保管しておいてください。
（別売品シートベースのテザーベルトA・Bも保管しておいてください。）

ご使用前の点検

箱から取り出した後やご使用いただく前には必ず次の点検を行ってください。

- ①シートベースや付属品が揃っているかご確認ください。
 - ②シートベースや付属品に破損等がないかご確認ください。
- 上記点検を行った際、欠品や破損等ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店、もしくはお客様相談センターまでご連絡ください。
また、ご不明な点がある場合や故障、修理の際も同様にご連絡ください。

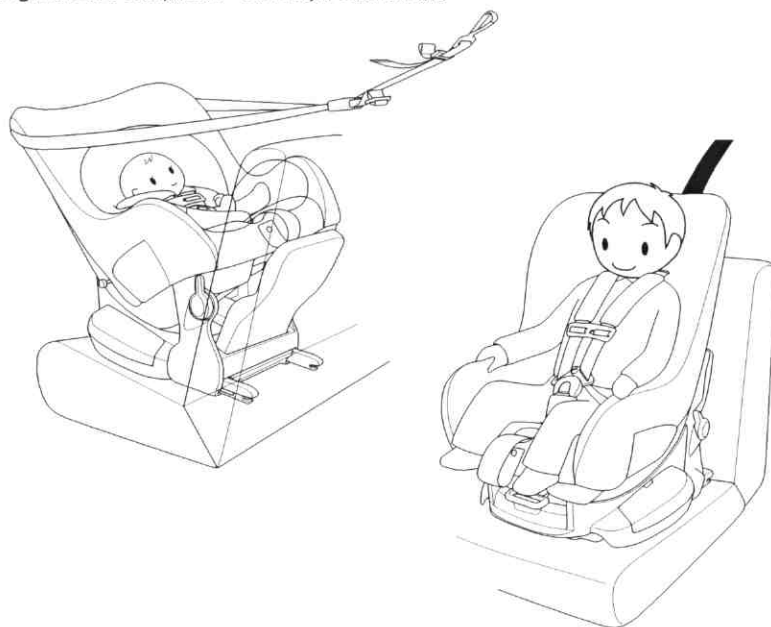
シートベース**本体****同梱されているもの****テザーベルトA****テザーベルトB****ガイドカップ**

ISOFIXでご使用になる場合 (ISOFIXの許可を受けた車両のみ使用可能です。)

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的に作られた年少者用補助乗車装置です。別売品のシートベースを確実に車両へ取り付け、ご使用ください。

しかし、チャイルドシートは自動車事故において、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではございませんので、チャイルドシートの確実な取り付けと、安全運転をお願い申し上げます。

9kg未満のお子さま(新生児～9ヶ月頃)がご使用の場合



9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)がご使用の場合

ご使用になる前に	5～9
●表示について	5
●緊急時には	5
●ご使用上の留意点	6
1. お子さまについて	
2. 車の取り付け座席について	
●ご使用上の注意	7～9
シートベース (別売品) のご使用方法	10～12
●最終の取り付け状態	10
●取り付け前の準備	10
●シートベースの取り付け方	11
●シートベースの取り外し方	12
9kg未満のお子さま(新生児～9ヶ月頃)がご使用の場合	13～22
●最終の取り付け状態	13
●取り付け前の準備	13～14
●チャイルドシートの取り付け方	15～19
●チャイルドシートの取り外し方	20
●お子さまの座らせ方	21～22
9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)がご使用の場合	23～30
●最終の取り付け状態	23
●取り付け前の準備	23～24
●チャイルドシートの取り付け方	25～26
●チャイルドシートの取り外し方	27
●お子さまの座らせ方	29～30

5 ご使用になる前に

表示について

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「チャイルドシートの故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。



警告

記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。



注意

記載事項を守らないと、傷害、チャイルドシートの故障や破損につながるおそれがあること。

その他の表示

「知っておくと便利なこと」・「知っておいていただきたいこと」を下記の表示で記載しています。



知識

知っておくと便利なこと。

知っておいていただきたいこと。

イラストのマークについて

してはならない行為を示すイラストには、下記のマークが記載されています。

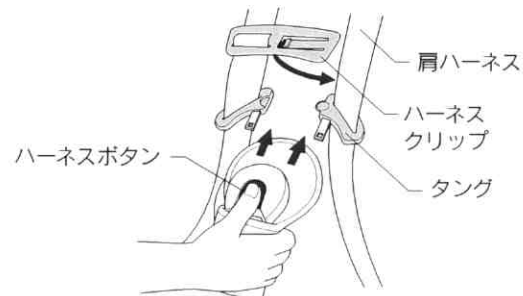


してはならない行為。

緊急時には

衝突事故等の緊急時は、あわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出してください。

- 1 ハーネスボタンを指で押しタングを外し、向かって右側のハーネスクリップから肩ハーネスを外す。



- 2 お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。

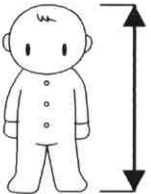
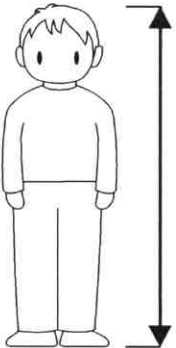


※ハーネスボタンを押してもタングが外れない時は、ハーネスを切断するなどしてハーネスを外してください。

ご使用上の留意点

1. お子さまについて

⚠ 警告 下記の条件を満たさないお子さまは使用しないでください。
この条件を満たさないお子さまには、事故時のダメージを軽減する効果がございません。

	後ろ向きの取り付け	前向きの取り付け
取り付け状態		
体重	9kg未満	9kg～18kg未満
参考年齢※	新生児～9ヶ月頃	9ヶ月頃～4歳頃
参考身長※	70cm未満 	70cm～100cm以下 

※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

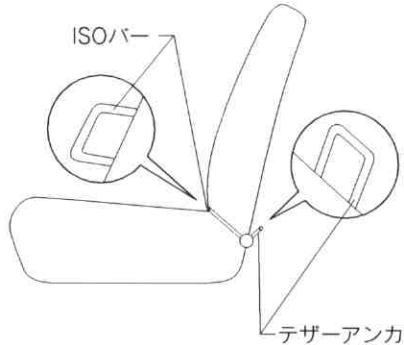
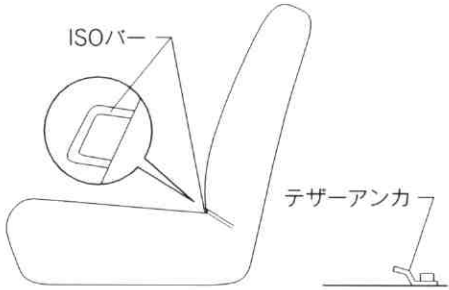
2. 車の取り付け座席について (後席左右の座席でご使用ください)

シートベースを、チャイルドシート固定専用バー（ISO13216-1に適合したチャイルドシート固定専用アンカ以下ISOバーと略す）に取り付けて使用します。この場合、チャイルドシートをシートベルトで固定する必要はありません。（ISOバーとは、車両側シートクッションとシートバックの隙間に組み込まれている直径6mmのバーのことで。）

⚠ 警告

- エアバッグの付いている座席ではご使用できません。
- テザーアンカの装備されていない車両には、ISOFIXとしてこのチャイルドシートはご使用できません。

※このチャイルドシートをご使用できる車両については、販売店または、お客様相談センターにお問い合わせください。

テザーアンカがシートにある場合	テザーアンカがシート以外にある場合
	

※テザーアンカ位置は車両により異なりますので、車両取扱書にてご確認ください。

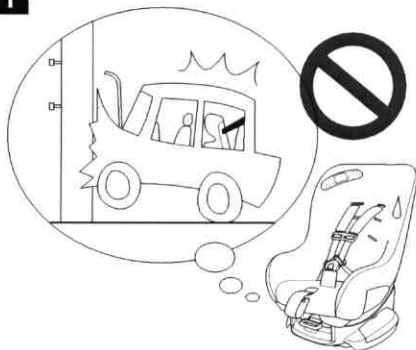
7 ご使用になる前に

ご使用上の注意



警 告

1



事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。

2



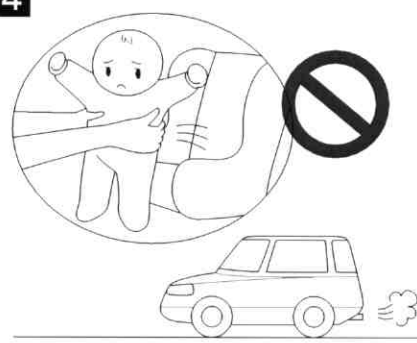
拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料（専用カバー類・ベルト類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。

3



お子さまだけを車に残した状態でお車から離れないでください。
不慮の事故につながるおそれがあります。

4



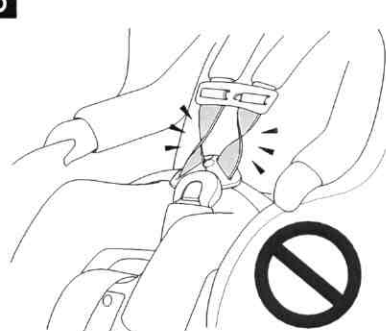
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。

5



チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。
切れていたりすると、チャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。

6



ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。

7



チャイルドシートを取り付けた後、お車の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したりしないでください。チャイルドシートの固定がゆるむおそれがあります。

8



取扱書に記載された以上の分解や、構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



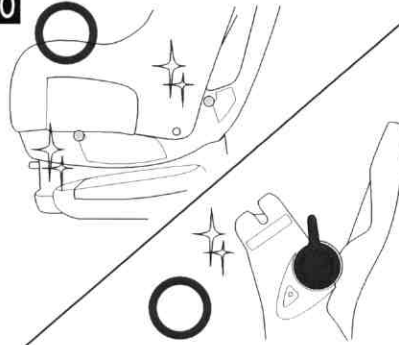
警 告

9



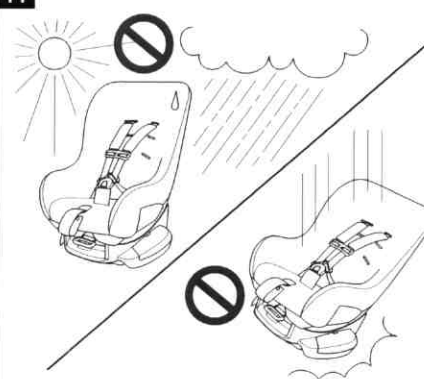
チャイルドシート・シートベース・テザーベルトのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

10



シートベースの本体ロック部、チャイルドシートの取り付けピン（前向き用・後ろ向き用）は常にきれいにしておいてください。チャイルドシートが固定されないおそれがあります。

11



チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。

12



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束される様に必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に腹部が圧迫されるおそれがあります。

13



お子さまがチャイルドシートを使用している時は、お子さまに固いものや鋭利なもの（先がとがった固いもの）等を持たせないでください。わずかな衝突時でも凶器となり大変危険です。

14



チャイルドシートが正しく取り付けられていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

15



チャイルドシートを取り外したまま車内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員やものなどに当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

16



お子さまをチャイルドシート固定機構付シートベルトで遊ばせないでください。お子さまがシートベルトで遊んで誤って作動させ、万一ベルトが首に巻き付いた場合、ベルトを引き出すことができなくなり、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。万一誤ってそのような状態になってしまい、バックルも外せない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

9 ご使用になる前に

ご使用上の注意



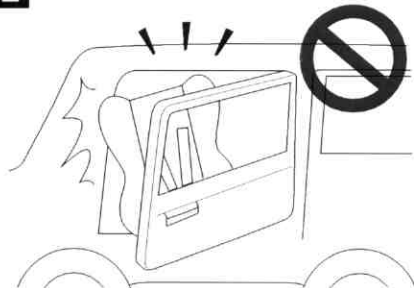
注 意

1



チャイルドシート・シートベースに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまが火傷をするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。

2



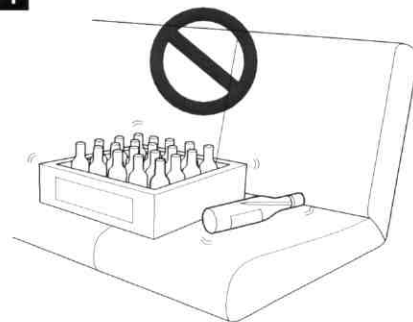
可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないようにして本品を取り付けてください。

3



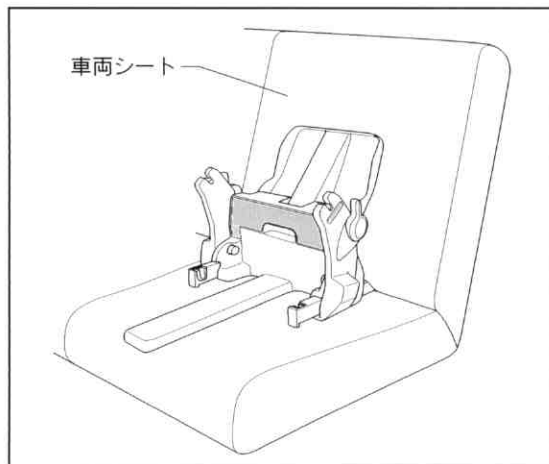
シートベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。シートベースを車室内に置く場合には、安全のためISOバーに取り付けたシートベースにチャイルドシートを固定しておいてください。

4



事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員に当るおそれがあり、危険です。

最終の取り付け状態



⚠ 警告

- テザーアンカの装備されていない座席には、ISOFIXとしてのご使用はできません。
- チャイルドシートを固定する車両シートがスライド/リクライニングする場合は、車両取扱説明書にてスライド/リクライニングの指示位置があるか確認し、指示位置がある車両は指示位置で、無い車両はスライド位置を最後部位置、リクライニング位置をベースシートが取り付け可能な位置でご使用ください。

⚠ 注意

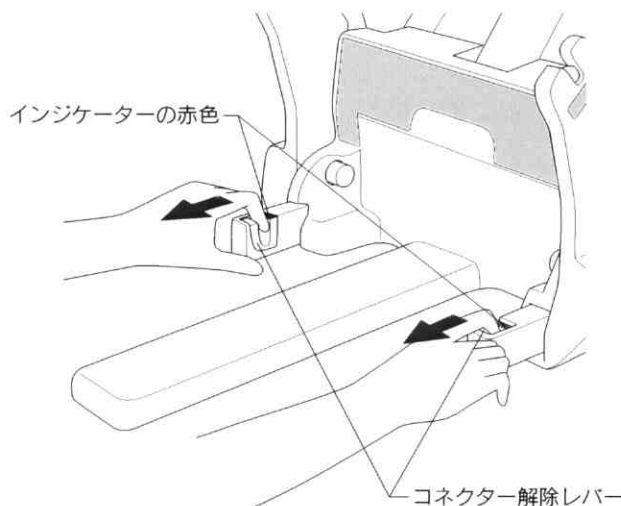
- シートベースを取り付けたままで放置しないでください。突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。
- ネジ類の取り外しは行わないでください。ロック機構が故障します。

取り付け前の準備

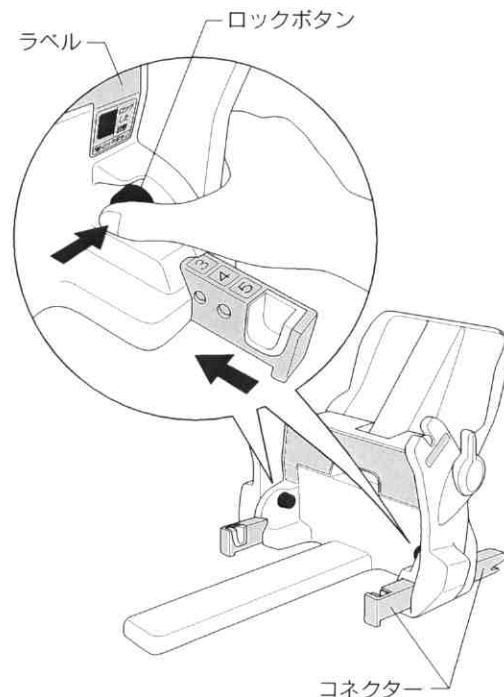
お車への取り付け前に、必ずご確認ください。

※このシートベースは、車両のシートに合わせて、コネクター（左右）の伸び出しを調節してご使用ください。

- 1 コネクター解除レバーに、インジケータの赤色部分が見えていることを確認する。赤色部分が見えていない場合は、コネクター解除レバーを手前に引き、ロックを解除する。

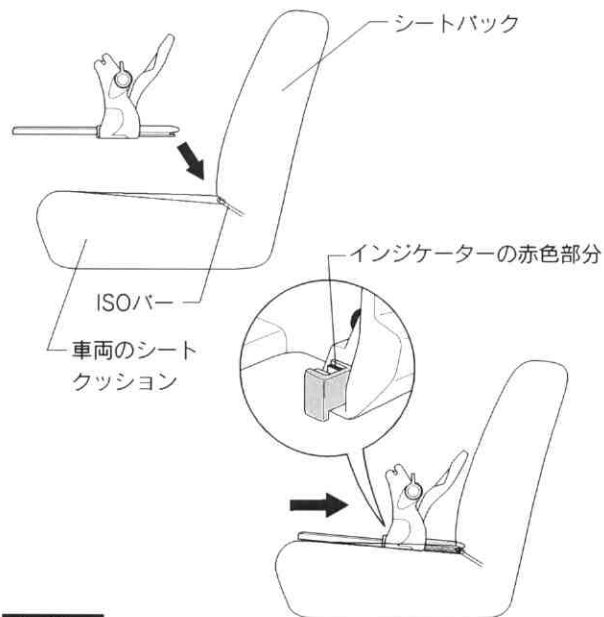


- 2 ロックボタンを押しながら、コネクター上面の数字が見えなくなるまでコネクターを押し出す。この時、ロックボタンがラベルの『ロックした状態』位置まで戻っていることを確認する。



シートベースの取り付け方

- 1** 車両シートクッションとシートバックのすき間を少し広げ、ISOバーの位置を確認する。コネクター部をISOバーに「カチャ」とロック音がし、両方のインジケーターの赤色部分が見えなくなるまで差し込む。



警告
インジケーターの赤色部分が見えている時は、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。必ず見えない状態にしてください。

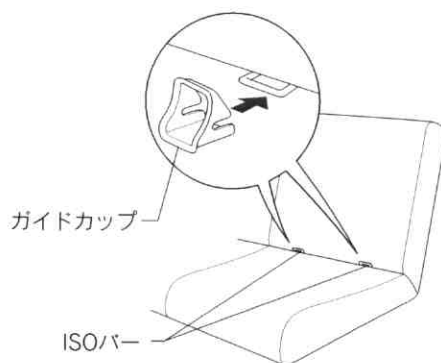


注意
シートベース取り付けの際、シートベルトのかみ込みが無いことやベース下に異物が無いことを確認してください。

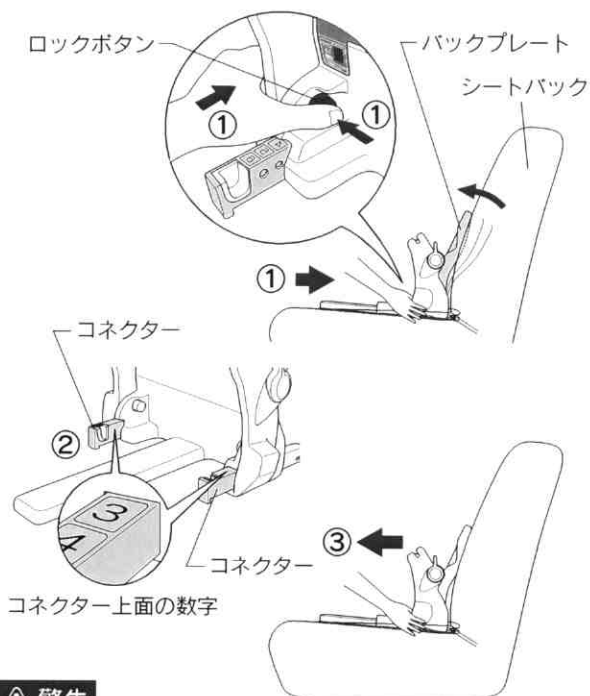


知識 取り付けにくい時は…

車両シートクッションとシートバックの間にあるISOバーを確認し、そのISOバーにガイドカップを差し込み、ガイドカップを目印にコネクター部を差し込むと、容易に取り付けられます。



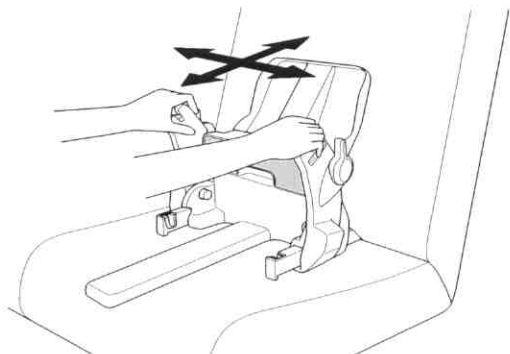
- ① ロックボタンを押しながら、シートベースをシートバックに強く押し付ける。この時、シートバックに沿ってバックプレートが起きあがる。
② コネクター上面の数字が、左右同じ（左右見えない場合もある）位置にあることを確認する。
③ ロックしていない場合は、ロックボタンを押さず少しシートベースを戻してロックさせる。



警告
コネクターは必ず正しいロック状態にしてください。正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

取り付けチェック

シートベースがしっかり取り付けられていることを前後左右にゆらしてご確認ください。



※ぐらつきがある場合は「取り付け前の準備」(P.10) ①からやり直してください。

車種と取り付ける方法の注意

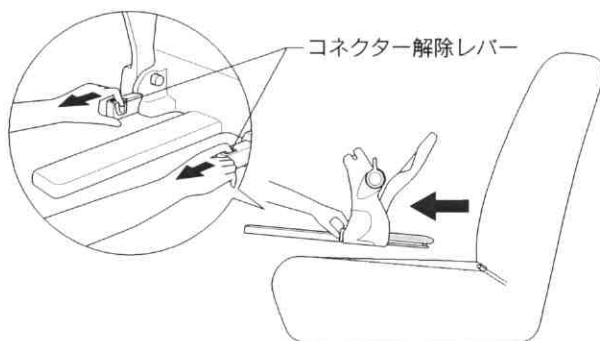


警告

ご使用にあたり、一部の車両では前席の位置を調整する必要があります。詳しくは車両取扱書を必ずご確認ください。

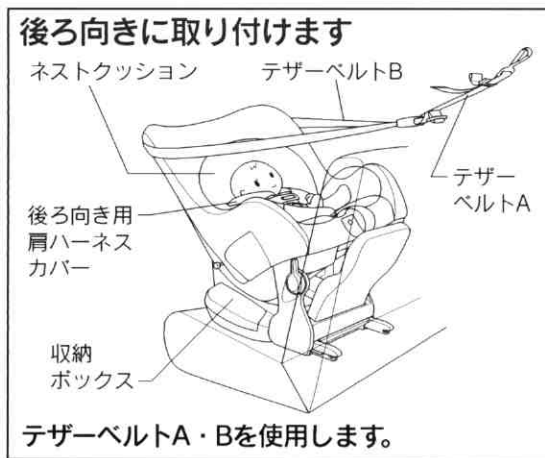
シートベースの取り外し方

● 両側のコネクター解除レバーを手前に引き、ロックを解除し、ISOバーからシートベースを取り外す。



13 9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

最終の取り付け状態



警告

肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります（P.1参照）。前向き用が付いている場合、必ず後ろ向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります（取り換え方法はP.57～58参照）。

注意

後ろ向き使用時のリクライニング位置は下段（一番倒した位置）のみ使用可能です。

知識

- ご使用にならない前向き用肩ハーネスカバーは収納ボックスに保管してください。
- ネストクッションは、後ろ向きの時のみご使用ください。

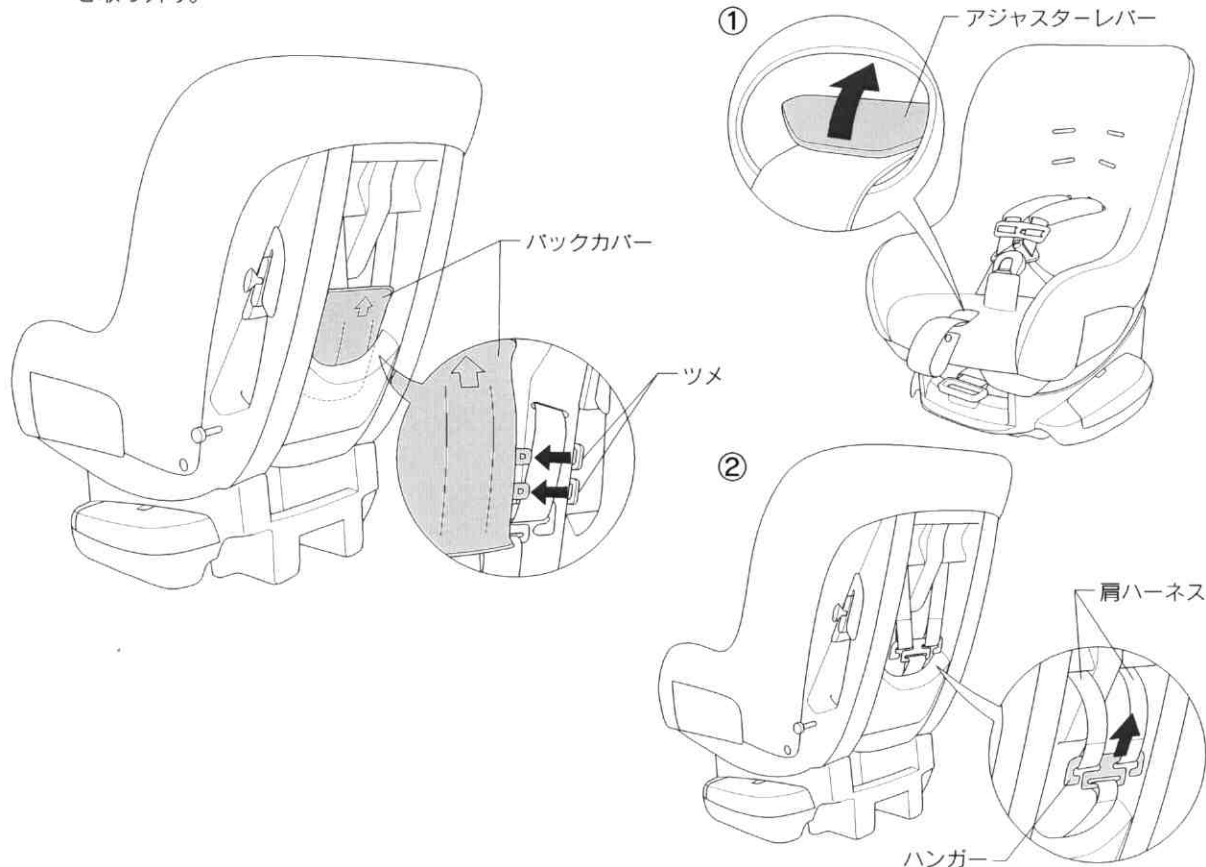
取り付け前の準備

シートベースへの取り付け前に、必ずご確認ください。

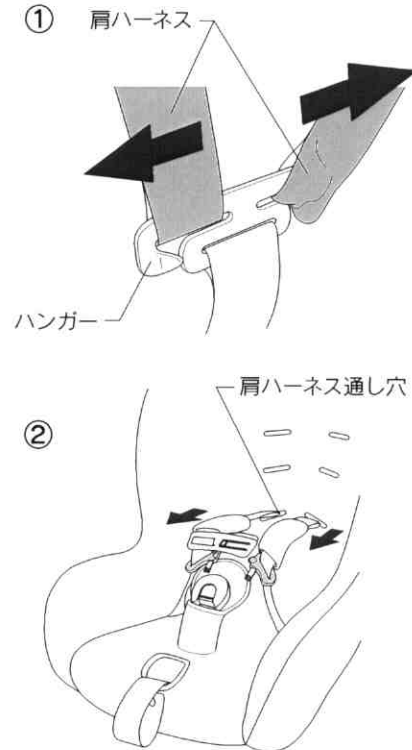
※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できる様に、3段階の肩ハーネス通し穴がついています。お子さまの体格に合わせて、肩ハーネスの高さを調節してご使用ください。

- ① バックカバーの左右どちらかのツメ2ヶ所を外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。

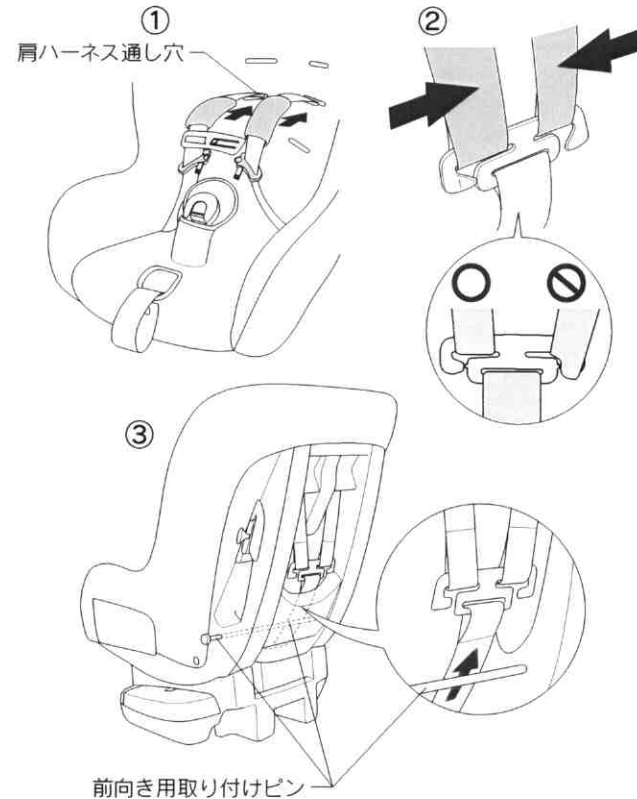
- ② ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。



- 3** ①本体後ろ側のハンガーから、片側ずつ肩ハーネスを外す。
②本体肩ハーネス通し穴の前側から抜き取る。



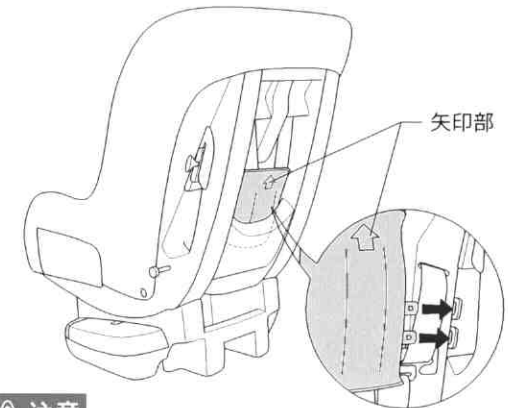
- 4** ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より低い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。
③この時、前向き用取り付けピンの内側を通す。



警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

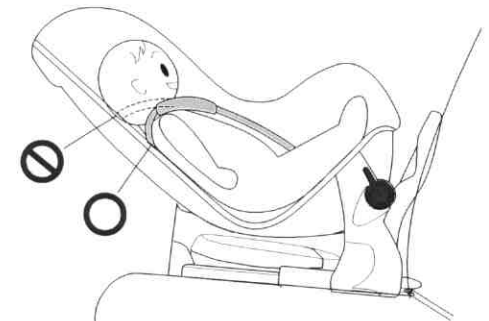
- 5** バックカバー矢印部が上にくるよう、本体にツメを引っ掛ける。



注意

確実にツメが挿入されていない場合、矢印部が上に来ない場合、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

肩ハーネス高さチェック



警告

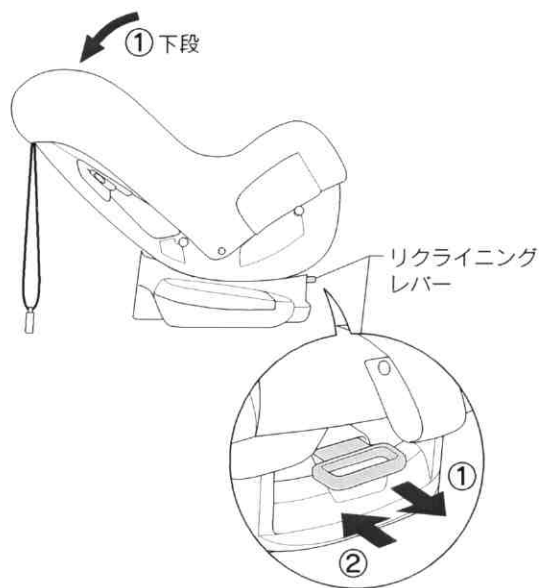
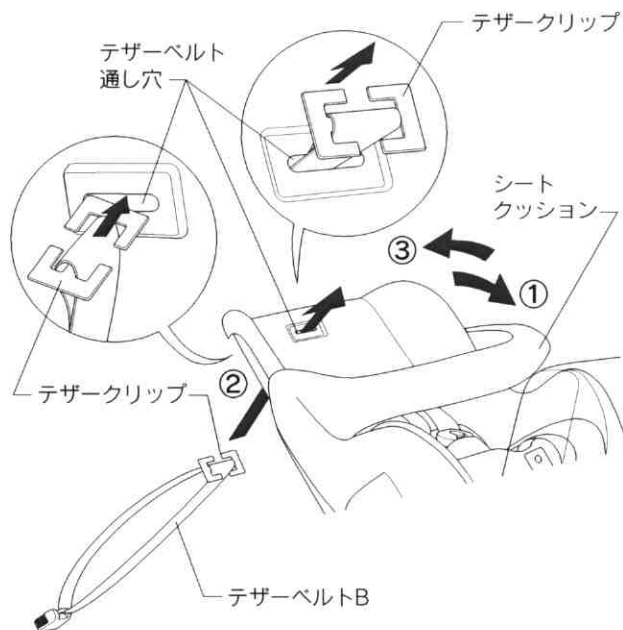
肩より高いハーネス通し穴は、使用しないでください。肩より高い位置で使用すると事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

15 9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

チャイルドシートの取り付け方

- ① シートクッションのホック（左右2ヶ所）を外してから、後ろ側上部のシートクッションをめくる。
② テザーベルトBのテザークリップを後ろ側からテザーベルト通し穴に通す。
③ クッションをもとに戻す。
- ① リクライニングレバーを手前に引きながら角度を下段（一番倒した位置）にセットする。
② リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前に動かしてロックさせる。

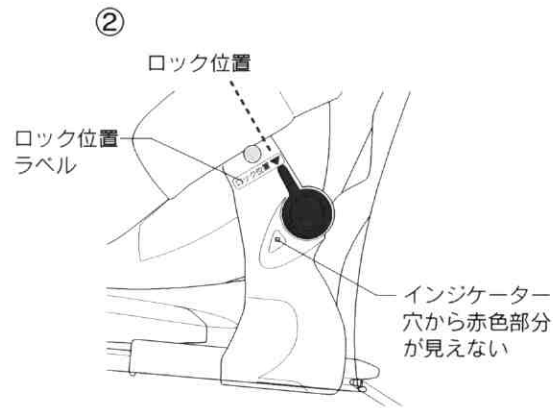
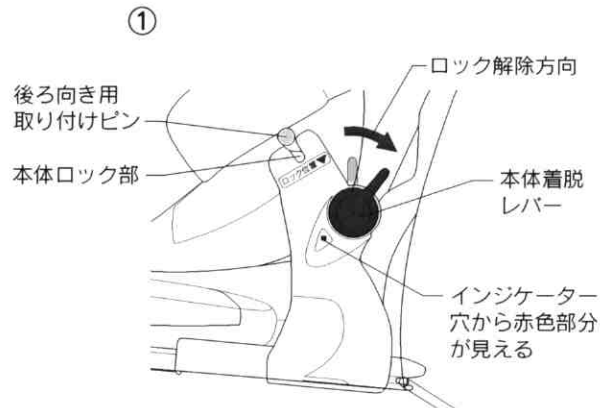
- ③ シートベースの本体ロック部に、後ろ向き用の取り付けピンを乗せる。



⚠ 警告

必ず、テザーベルトをご使用ください。テザーベルトを使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4** ①左右いずれかの本体着脱レバー（左右連動）をロック解除方向に回し、両側の後ろ向き用取り付けピンを本体ロック部に結合（ロック）させる。
 ②この時、本体着脱レバーがロック位置にあることと、インジケーター穴から赤色部分が見えていないことを確認する。

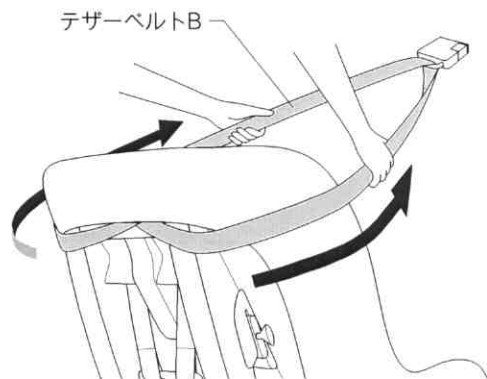


⚠ 警告

本体着脱レバーがロック位置と合わず、インジケーター穴から赤色部分が見えていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

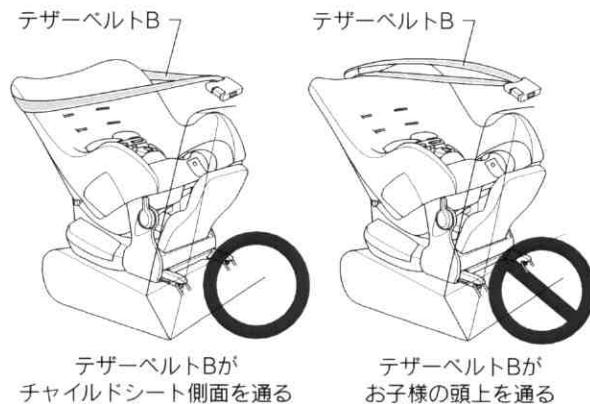
17 9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

- ⑤ テザーベルトBを、チャイルドシートの上端に沿わせる。



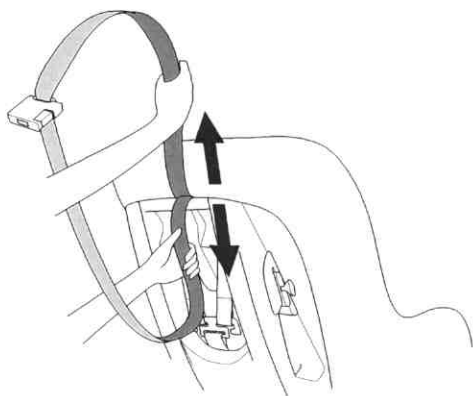
警告

テザーベルトBはチャイルドシート本体側面を通してください。誤った取り付け方をすると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

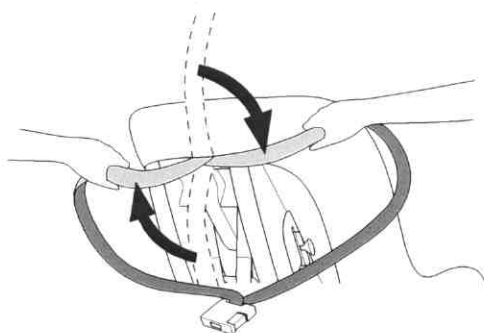


知識 テザーベルトBの取り付け方

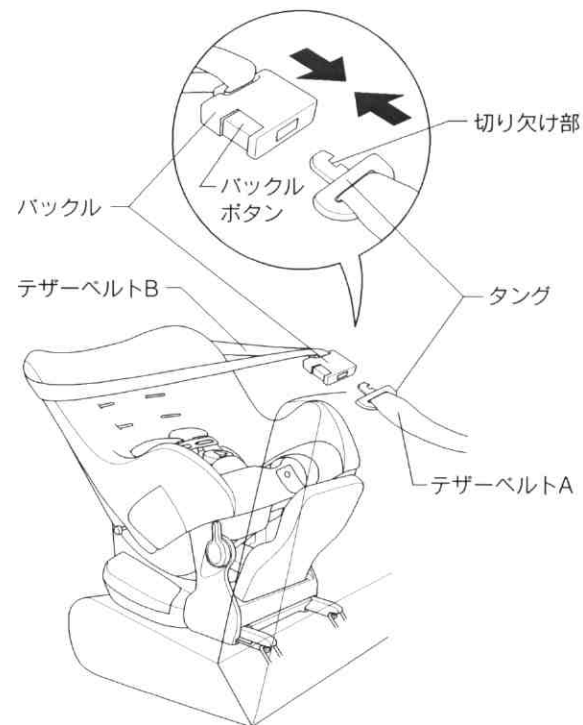
- ① 図のようにテザーベルトBを上下2つに分けてください。



- ② そのまま時計まわりに90°まわし、チャイルドシート側面に沿って、バックル部を前方に移動させてください。



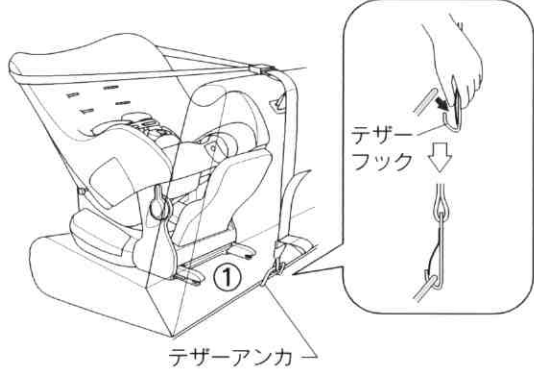
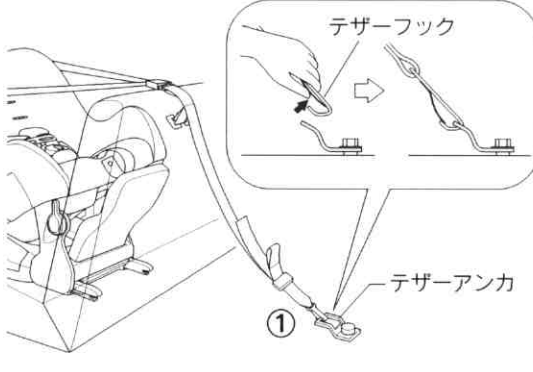
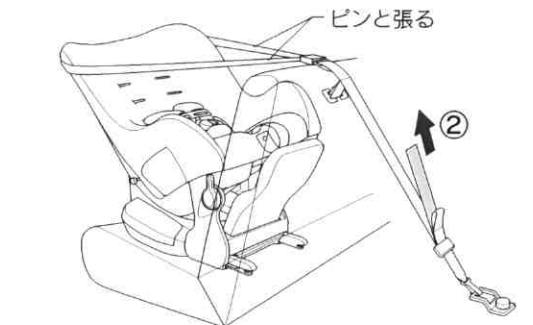
- ⑥ テザーベルトAのタングをテザーベルトBのバックルへ「カチャ」というロック音がするまで差し込む。この時、タングの向きは切り欠け部がバックルボタンの反対側でないと、ロックできません。



警告

- テザーフックは車両のテザーアンカ以外には掛けないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ヘッドレストとテザーベルトが干渉する場合は、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。正しい取り扱い、車両取扱書をご参照ください。
- 必ず、テザーベルトをテザーアンカに取り付けてご使用ください。テザーベルトが正しく付いていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

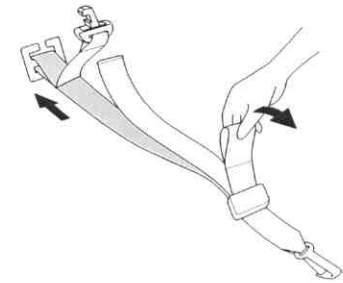
- 7** ①テザーベルトがねじれない様にテザーフックを車両側テザーアンカに掛ける。
テザーアンカの位置は車両により異なりますので、車両取扱書にてご確認ください。
- ②テザーベルトがピンと張る（5kg程度）まで、強く引っ張ってチャイルドシートを固定する。

テザーアンカがシートにある場合	テザーアンカがシート以外にある場合
	
	

知識

テザーフックがテザーアンカまでとどかなかった場合…

図の様な方法でチャイルドシート側のベルトを伸ばしてください。

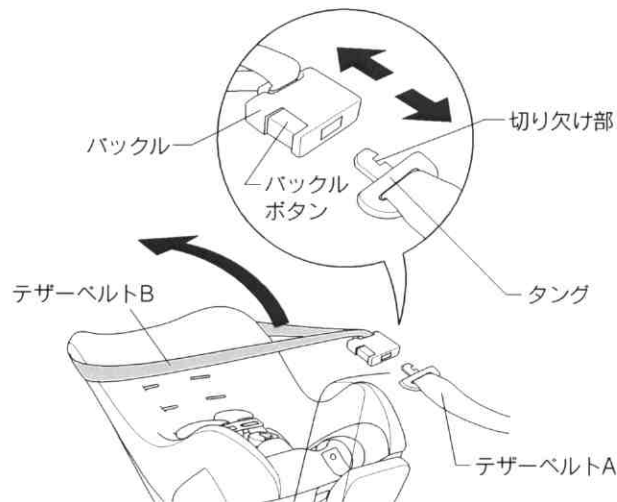

警告

必ず、テザーベルトがピンと張る迄、張力をかけてください。テザーベルトが正しく張っていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

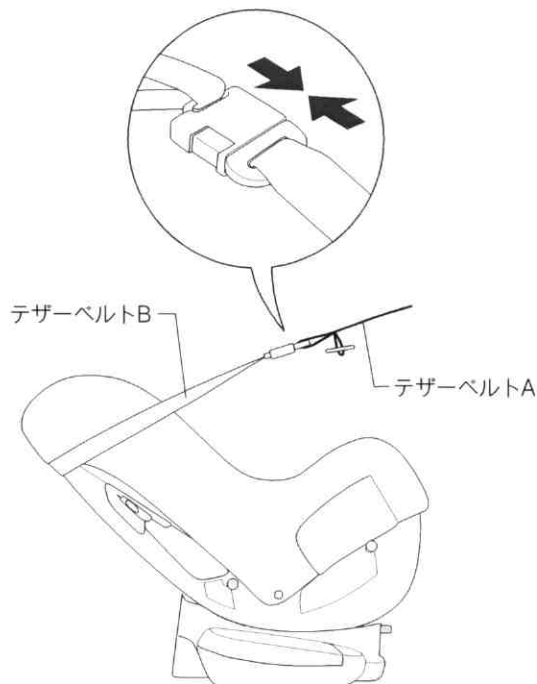


19 9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

- ⑧ バックルボタンを押し、テザーベルトA・Bのロックを解除する。この時、テザーベルトBをチャイルドシート本体の背面に回す。



- ⑩ テザーベルトAの長さを変えずに、テザーベルトAのタングをテザーベルトBのバックルへ「カチャ」というロック音がする迄差し込む。この時、テザーベルトAにねじれがないことをご確認ください。



- ⑨ お子さまをチャイルドシートに座らせる。
※お子さまの座らせ方は、P.21～P.22
「お子さまの座らせ方」をご参照ください。



⚠ 警告

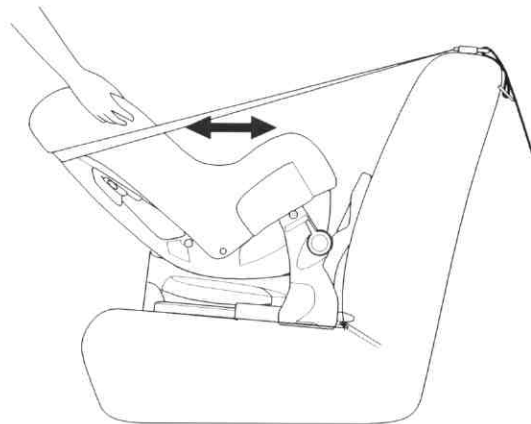
ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

🎓 知識

バックルがタングにとどきにくい場合は、身体でチャイルドシートを軽く浮かせながら取り付けてください。

取り付けチェック

チャイルドシートを前後にゆらし、後ろ向き取り付けピンがシートベースの本体ロック部に、しっかり取り付けられていることをご確認ください。ただし、チャイルドシート本体がガタつくことがございますが、性能には問題ありません。

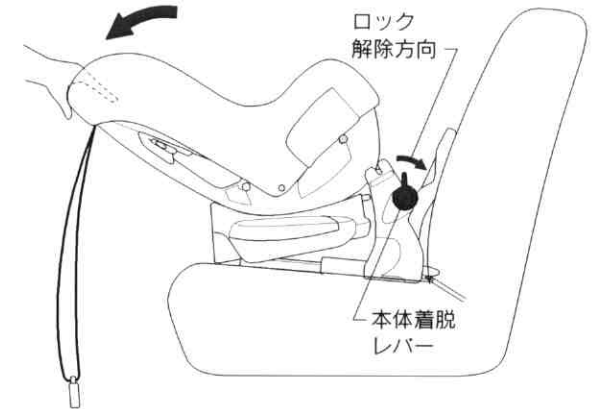
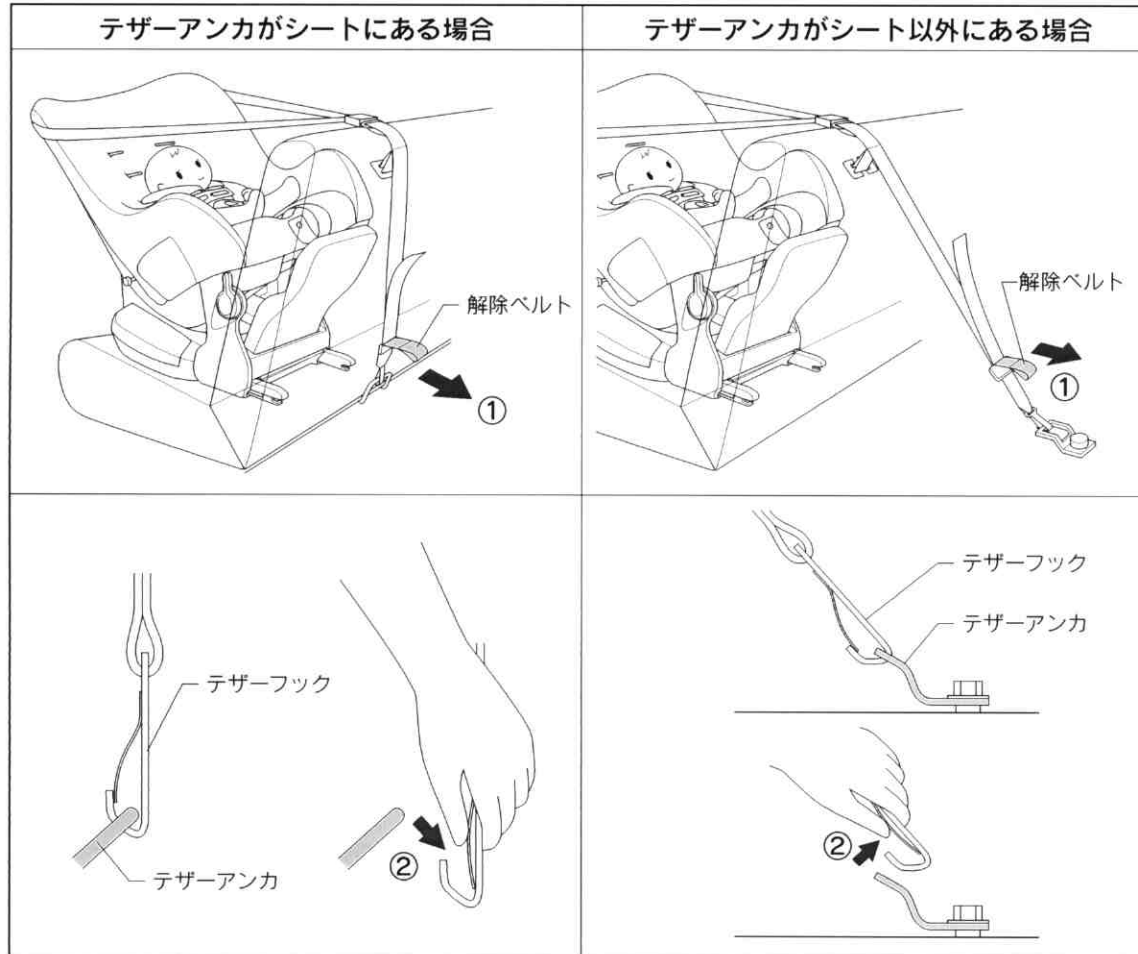


※本体ロック部から後ろ向き用取り付けピンが左右いずれかでも外れる場合には「チャイルドシートの取り付け方」(P.15) ① からやり直してください。

チャイルドシートの取り外し方

- 1** ①テザーベルトのロック解除ベルトをテザーフック側に引っ張り、テザーフックが外れる程度までゆるめる。
テザーアンカの位置は車両により異なりますので、車両取扱書にてご確認ください。
②テザーアンカからテザーフックを取り外す。

- 2** 左右どちらかの本体着脱レバーをロック解除方向へ回しながら、シートベースからチャイルドシートを取り外す。



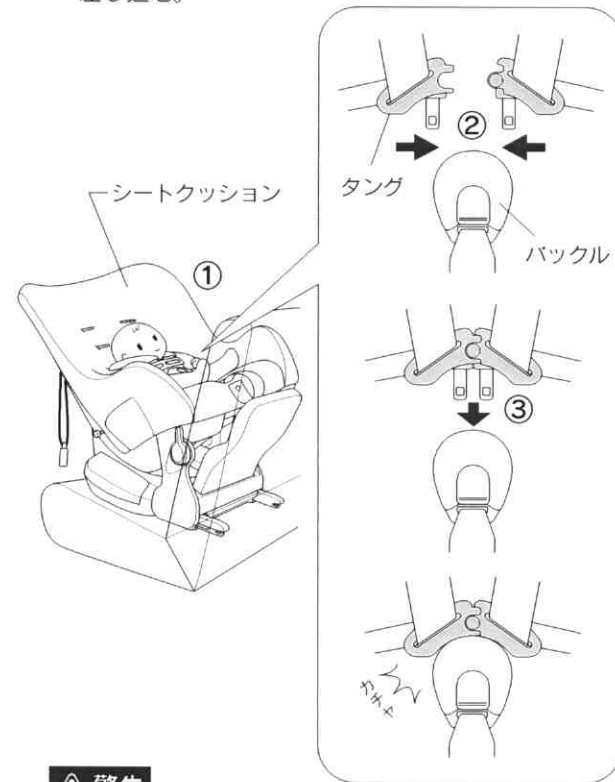
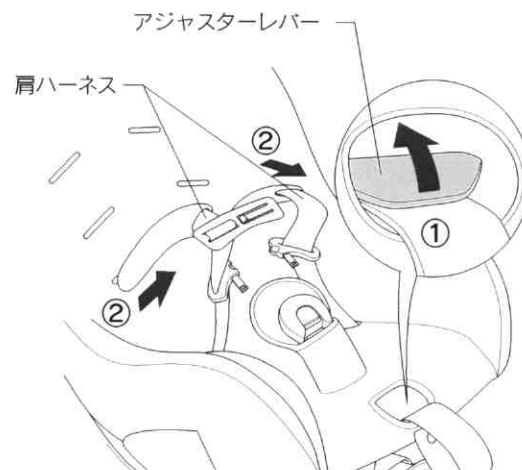
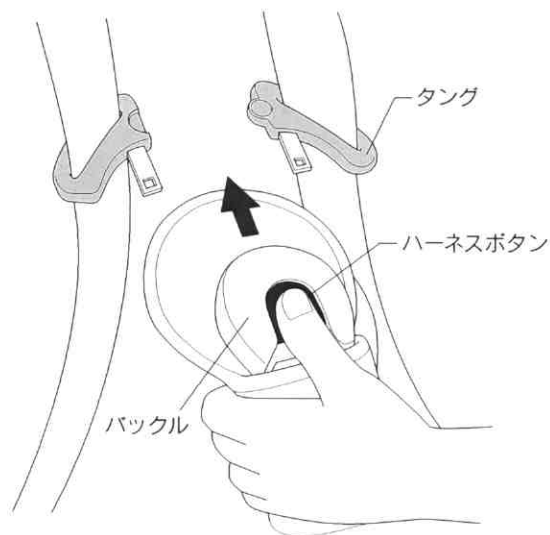
21 9kg 未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

お子さまの座らせ方

- ① チャイルドシートのハーネスボタンを押し、
タングをバックルから外す。

- ② ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。

- ③ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさ
せる。
②左右のタングをはめ合わせる。
③バックルへ「カチャ」というロック音ができるまで
差し込む。

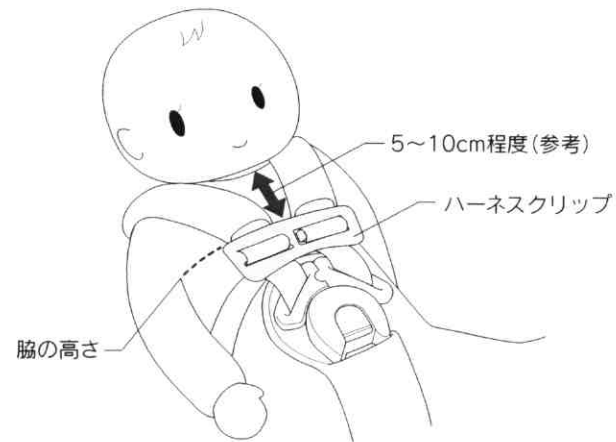


タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4** アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。



- 5** ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から5～10cm程度）。



⚠ 警告

ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれない様にしてください。
正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。
肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受けるおそれがあります。

最終の取り付け状態

前向きに取り付けます

前向き用

肩ハーネスカバー

テザー
ベルトA

テザーベルトA
を使用します

収納
ボックス

警告

- 肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります(P.1参照)。後ろ向き用が付いている場合、必ず前向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります(取り換え方法はP.57～58参照)。
- 必ずテザーベルトをテザーアンカに取り付けてご使用ください。テザーベルトが正しく付いていないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

注意

前向き使用時のリクライニング位置は上段（一番起こした位置）のみ使用可能です。

知識

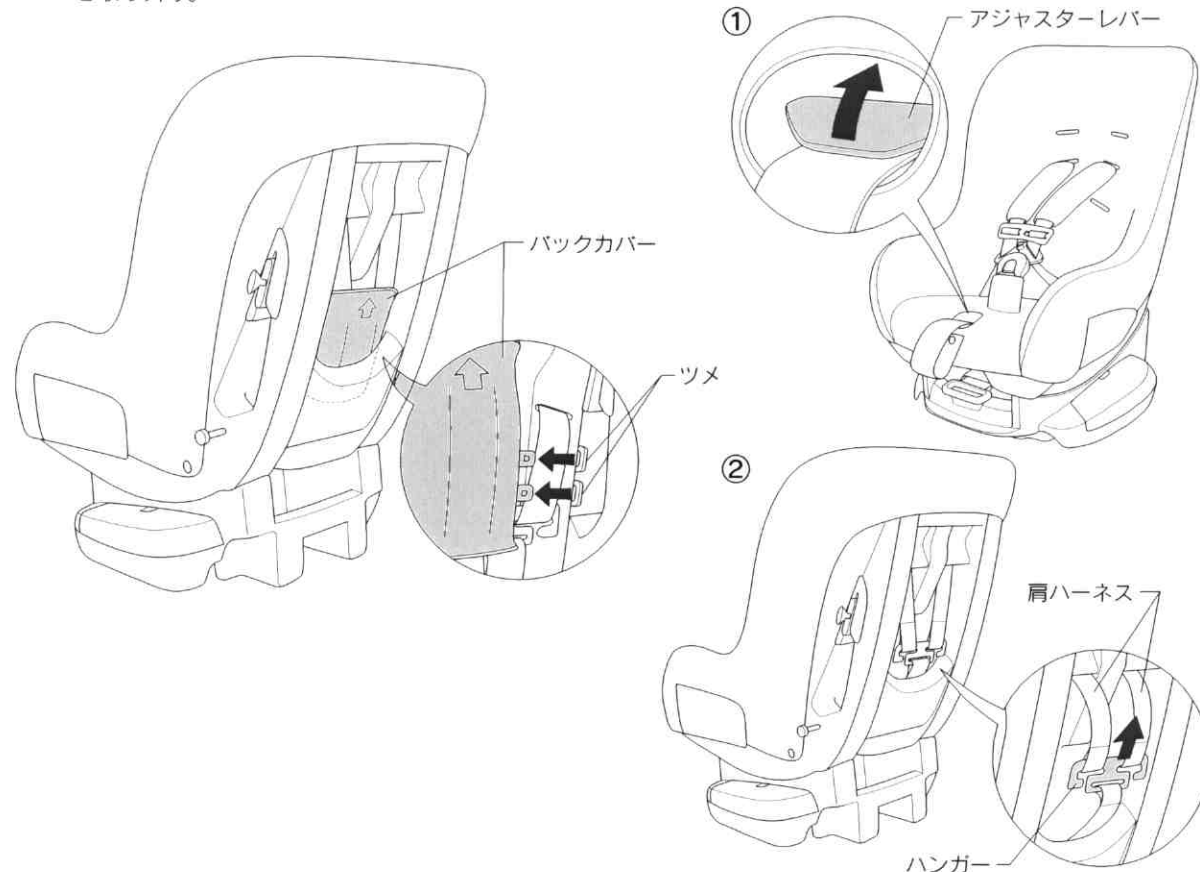
ご使用にならない後ろ向き用肩ハーネスカバーは、収納ボックスに保管してください。

取り付け前の準備

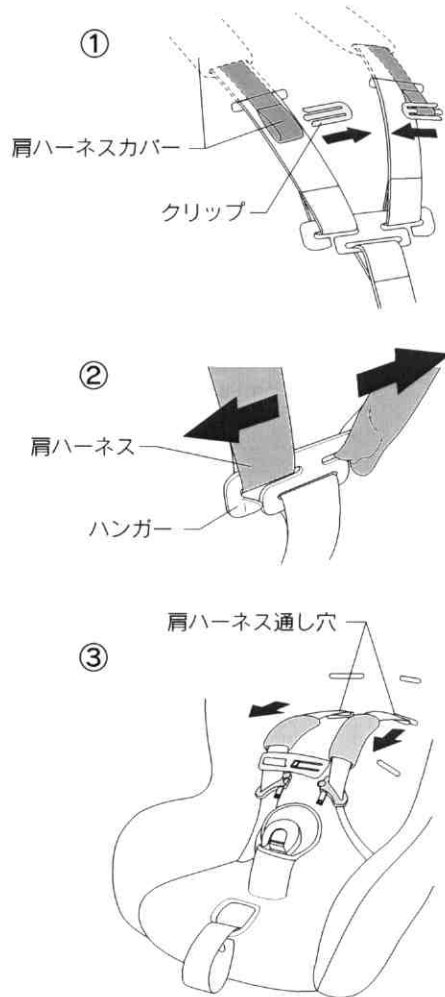
シートベースへの取り付け前に必ず確認してください。

※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できる様に、3段階の肩ハーネス通し穴が付いています。お子さまの体格に合せて、肩ハーネスの高さを調節してご使用ください。

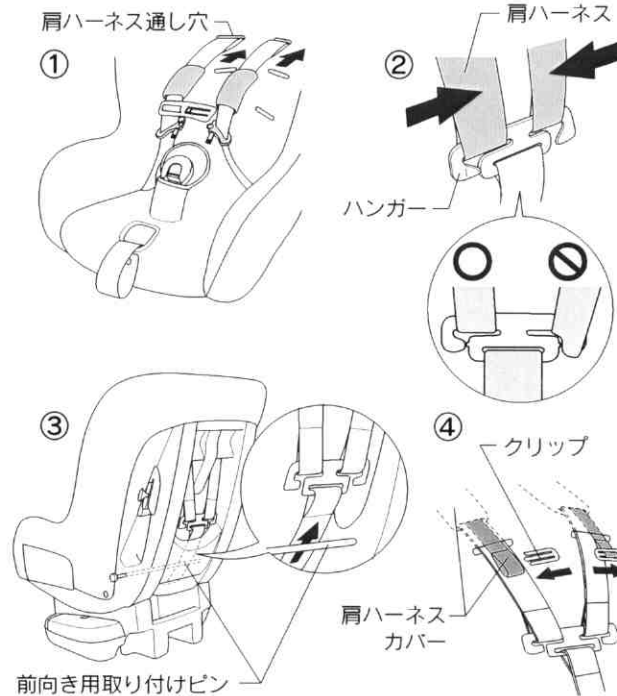
- 1 バックカバーの左右どちらか一方のツメ2ヶ所を外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。
- 2 ①アジャスターレバーを持ち上げておく。
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。



- 3** ①本体後ろ側の前向き用肩ハーネスカバーからクリップを外す。
②ハンガーから片側ずつ肩ハーネスを外す。
③肩ハーネス通し穴から抜き取る。



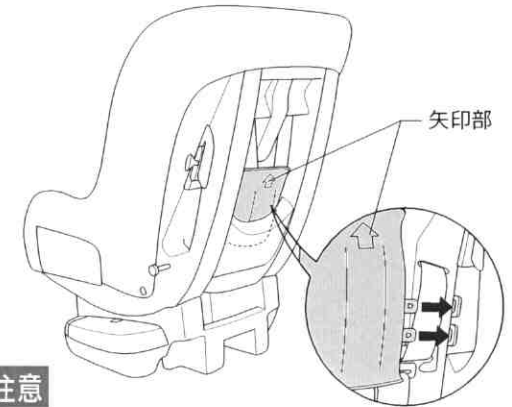
- 4** ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より高い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。
③この時、前向き用取り付けピンの内側を通す。
④前向き用肩ハーネスカバーにクリップの凸部を上にして、チャイルドシートを中心から外側に向かって取り付ける。



警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 5** バックカバー矢印部が上にくる様、本体にツメを引っ掛ける。



注意

確実にツメが挿入されていない場合、矢印部が上にある場合、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

肩ハーネス高さチェック

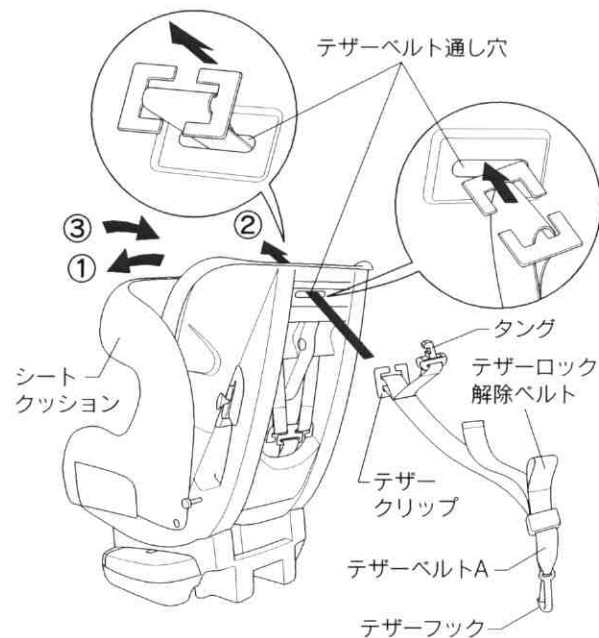


警告

肩より低いハーネス通し穴は使用しないでください。肩より低い位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

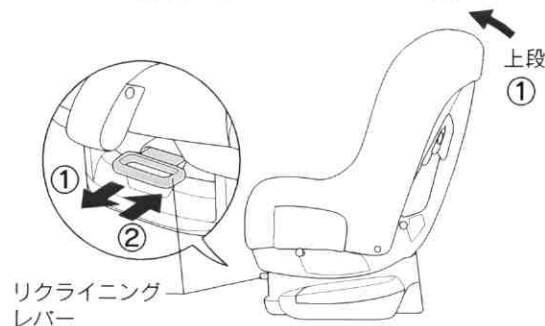
チャイルドシートの取り付け方

- ① シートクッションのホック (左右2ヶ所) を外してから、後ろ側上部のシートクッションをめくる。
- ② テザーベルトAのテザークリップを後ろ側からテザーベルト通し穴に通す。
- ③ クッションをもとに戻す。



警告
必ず、テザーベルトをご使用ください。
テザーベルトを使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ② リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を上段 (一番起こした位置) にセットする。
- ② リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせる。

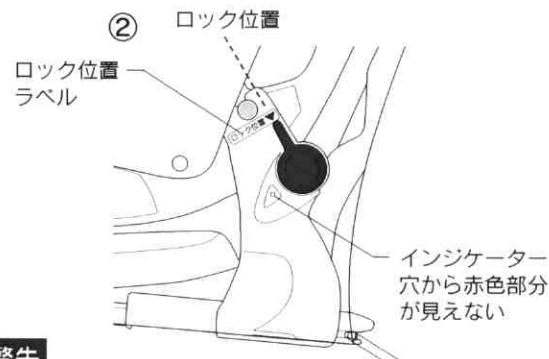


警告 ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ③ シートベースの本体ロック部に、前向き用取り付けピンを乗せる。



- ④ ① 左右いずれかの本体着脱レバー (左右連動) をロック解除方向に回し、両側の前向き用取り付けピンを本体ロック部に結合 (ロック) させる。
- ② この時、本体着脱レバーがロック位置にあること、インジケータ穴から赤色部分が見えていないことを確認する。

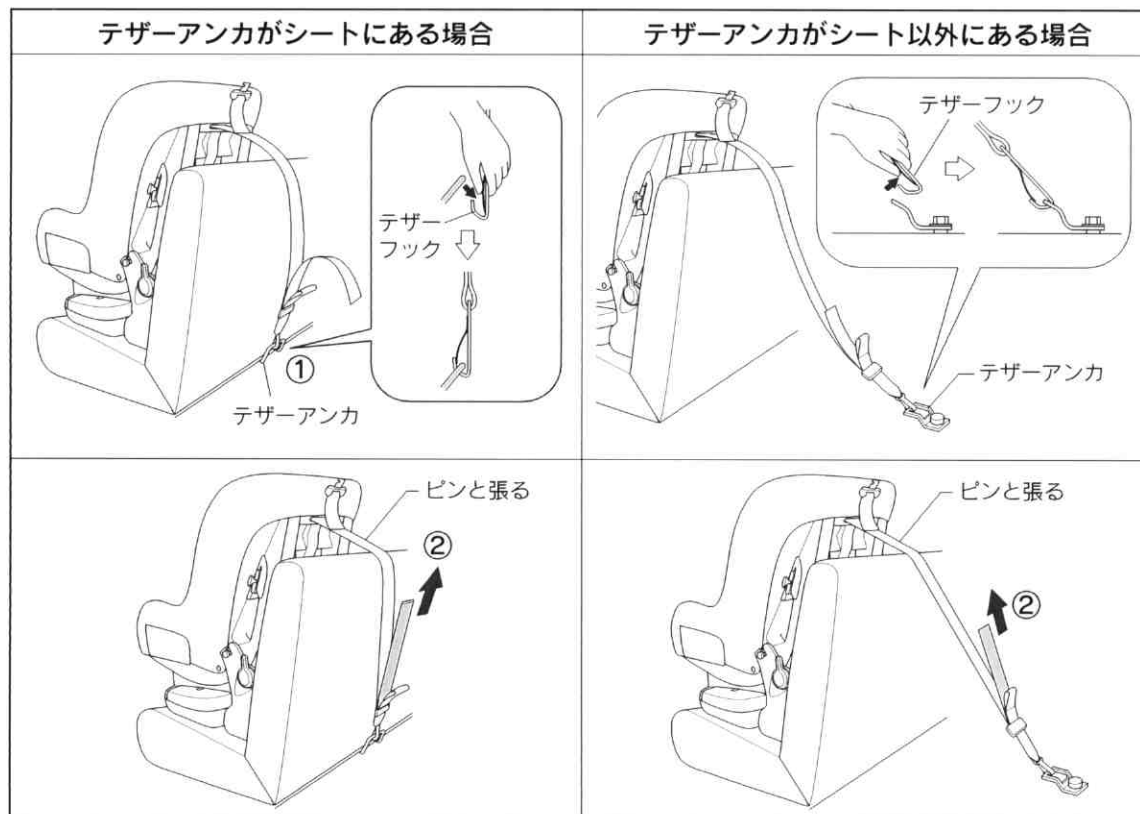


警告
本体着脱レバーがロック位置と合わず、インジケータ穴から赤色部分が見えていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

警告

- テザーフックは車両のテザーアンカ以外には掛けないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ヘッドレストとテザーベルトが干渉する場合は、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。正しい取り扱いは、車両取扱書をご参照ください。
- 必ず、テザーベルトをテザーアンカに取り付けてご使用ください。必ずテザーベルトがピンと張るように取り付けてご使用ください。テザーベルトが正しく付いていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

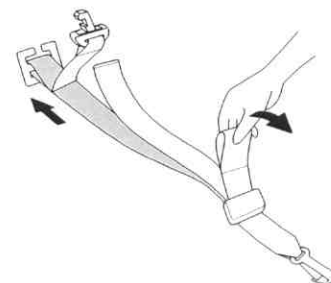
- ⑤ ①テザーベルトがねじれない様にテザーフックを車両側テザーアンカに掛ける。
テザーアンカの位置は車両により異なりますので、車両取扱書にてご確認ください。
②テザーベルトがピンと張る（5kg程度）迄、強く引っ張ってチャイルドシートを固定する。



知識

テザーフックがテザーアンカまでとどかなかった場合…

図の様な方法でチャイルドシート側のベルトを伸ばしてください。



取り付けチェック

チャイルドシートを前後にゆらし、前向き用取り付けピンがシートベースの本体ロック部にしっかり取り付けられていることを確認してください。ただし、本体座面が浮いても性能には問題ありません。

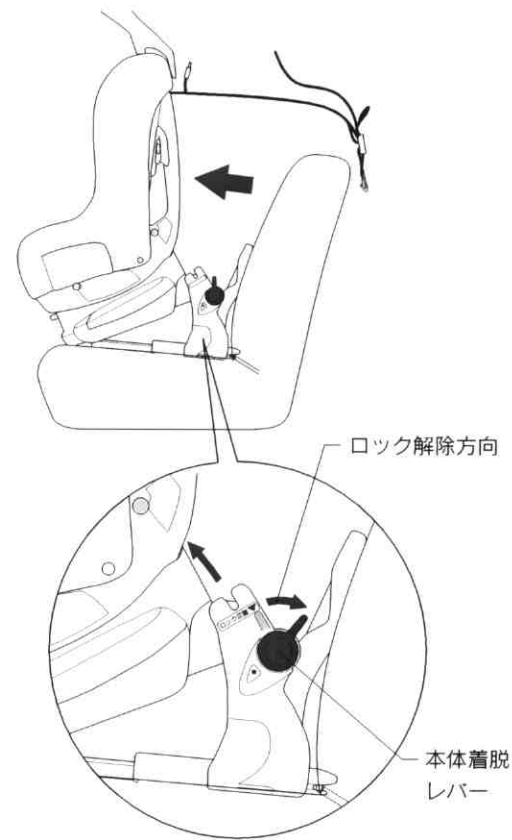
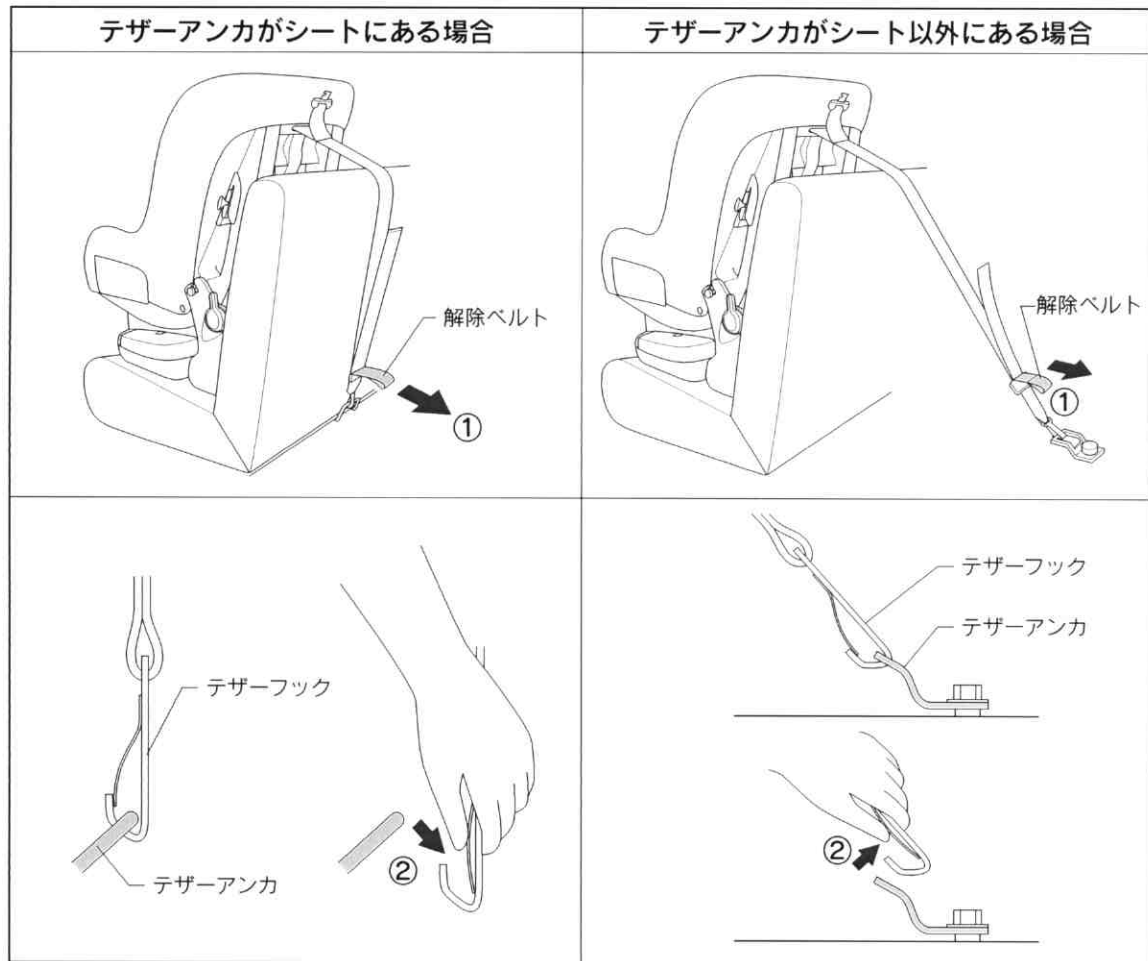


※本体ロック部から前向き用取り付け用ピンが左右いずれか一方でも外れる場合は「チャイルドシートの取り付け方」(P.25) ①からやり直してください。

チャイルドシートの取り外し方

- 1** ①テザーベルトのロック解除ベルトをテザーフック側に引っ張り、テザーフックが外れる程度までゆるめる。
テザーアンカの位置は車両により異なりますので、車両取扱書にてご確認ください。
②テザーアンカからテザーフックを取り外す。

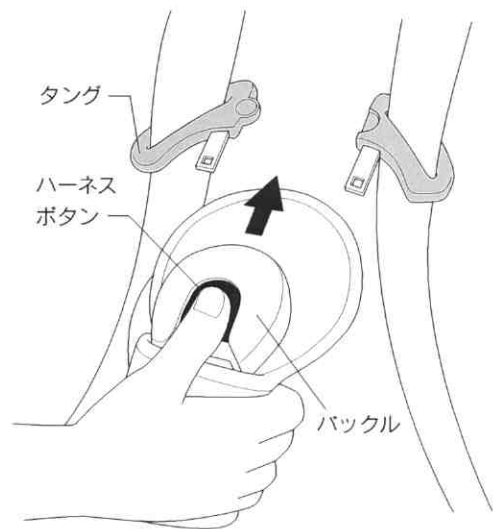
- 2** 左右どちらかの本体着脱レバーをロック解除方向へ回しながら、シートベースからチャイルドシートを取り外す。



29 9kg～18kg 未満のお子さま（9ヶ月頃～4歳頃）がご使用の場合

お子さまの座らせ方

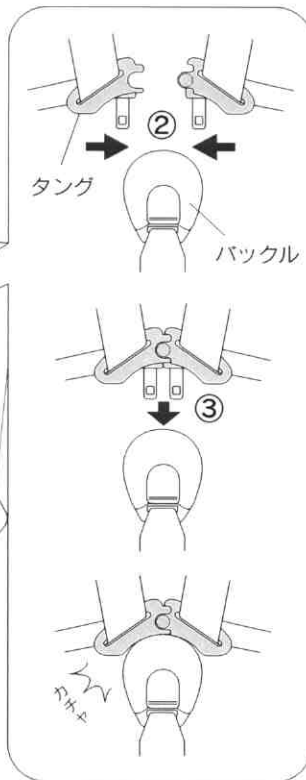
- ① チャイルドシートのハーネスボタンを押し、
タングをバックルから外す。



- ② ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。



- ③ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせる。
②左右のタングをはめ合わせる。
③バックルへ「カチャ」というロック音がするまで差し込む。



⚠ 警告

タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ④ アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。



- ⑤ ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から5～10cm程度）。



⚠ 警告

ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれない様にしてください。
正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

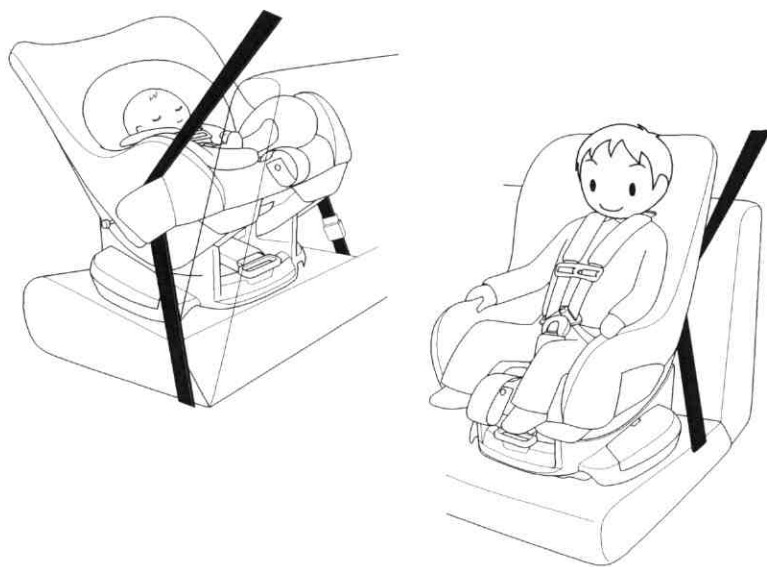
肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。
肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトでご使用になる場合

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的に作られた年少者用補助乗車装置です。

しかし、チャイルドシートは自動車事故において、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではございませんので、チャイルドシートの確実な取り付けと、安全運転をお願い申し上げます。

9kg未満のお子さま(新生児～9ヶ月頃)がご使用の場合



9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)がご使用の場合

ご使用になる前に 33～38

- 表示について 33
- 緊急時には 33
- ご使用上の留意点 34
 - 1. お子さまについて
 - 2. 車の取り付け座席について
- 取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト 35～36
- ご使用上の注意 37～38

9kg未満のお子さま(新生児～9ヶ月頃)がご使用の場合 39～48

- 最終の取り付け状態 39
- 取り付け前の準備 39～40
- チャイルドシートの取り付け方 41～45
- お子さまの座らせ方 47～48

9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)がご使用の場合 49～56

- 最終の取り付け状態 49
- 取り付け前の準備 49～50
- チャイルドシートの取り付け方 51～54
- お子さまの座らせ方 55～56

表示について

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「チャイルドシートの故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。



警告

記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。



注意

記載事項を守らないと、傷害、チャイルドシートの故障や破損につながるおそれがあること。

その他の表示

「知っておくと便利なこと」・「知っておいていただきたいこと」を下記の表示で記載しています。



知識

知っておくと便利なこと。

知っておいていただきたいこと。

イラストのマークについて

してはならない行為を示すイラストには、下記のマークが記載されています。

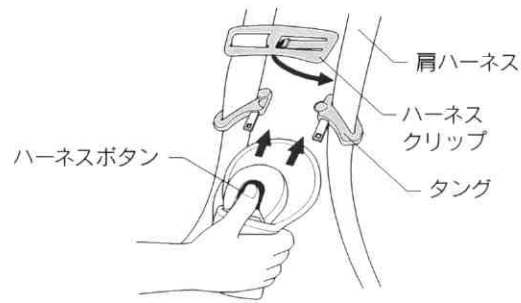


してはならない行為。

緊急時には

衝突事故等の緊急時は、あわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出してください。

- 1 ハーネスボタンを指で押しタングを外し、向かって右側のハーネスクリップから肩ハーネスを外す。



- 2 お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。

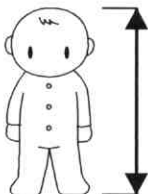
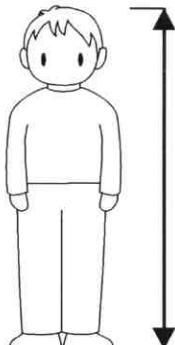


※ハーネスボタンを押してもタングが外れない時は、ハーネスを切断するなどしてハーネスを外してください。

ご使用上の留意点

1. お子さまについて

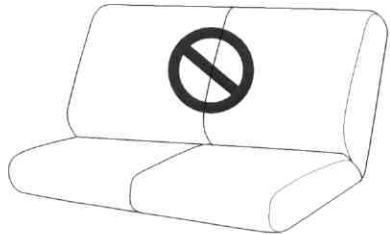
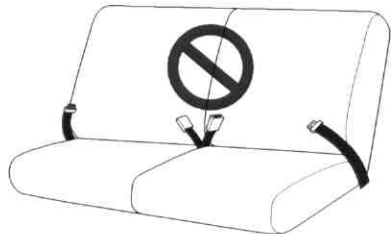
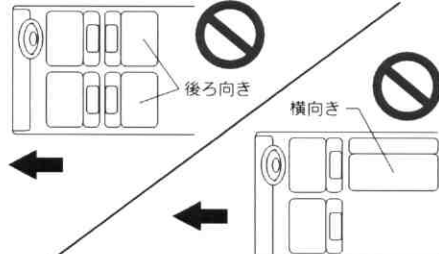
⚠ 警告 下記の条件を満たさないお子さまは使用しないでください。
この条件を満たさないお子さまには、事故時のダメージを軽減する効果がございません。

	後ろ向きの取り付け	前向きの取り付け
取り付け状態		
体重	9kg未満	9kg～18kg未満
参考年齢※	新生児～9ヶ月頃	9ヶ月頃～4歳頃
参考身長※	70cm未満 	70cm～100cm以下 

※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

2. 車の取り付け座席について

⚠ 警告 下記のような座席には使用しないでください。
事故時にお子さまに加わるダメージを軽減する効果がなかったり、逆にお子さまや他の乗員が重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトの付いていない座席 	2点式シートベルトの付いている座席 
エアバッグの付いている座席 ※1 	横向き、後ろ向きの座席 
チャイルドシートで運転に支障をきたす座席 	P.35～36で取り付けができないと明記されているシートベルトの付いている座席 ※1： 助手席SRSエアバッグ付車では後ろ向きで使用しないでください。

取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト

※自動車のシートベルトの種類・特徴・長さの調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

シートベルトの種類		特 徴
2点式シートベルト		肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト
3点式シートベルト	ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	ELRベルトとは、ベルトをゆっくり引き出せば自由に入出入りするが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックを与えるとロックされるシートベルト。自動車の3点式シートベルトのほとんどにELRが使われています。また、一部には腰ベルト側にELRが付いた3点式シートベルトもあります。
	腰ベルト側にELRが付いたシートベルト	
	ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	シートベルトを引き出す途中で手をとめると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せない。
	ELR・ALR付シートベルト（チャイルドシート固定機能付きシートベルト）	通常はELRの機能だが、シートベルトを全量引き出すとALRの機能に切り替わるシートベルト。
	NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	ロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用する。
	マニュアル式シートベルト	巻取り装置のない3点式シートベルト。
パッシブシートベルト		前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。
その他のシートベルト		表に記載されていないもの全て。

○：取り付けできる
 ⊘：取り付けできない

取り付けの際の留意点

 警告 

チャイルドシートを取り付けしないでください。

○

 警告 走行中シートベルトが緩み、チャイルドシートがズれるおそれがありますので、後ろ向き使用の場合はロックオフクリップをご使用ください。また、前向き使用の場合はロックオフレバーをご使用ください。

 警告 

チャイルドシートを取り付けしないでください。

○

チャイルドシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを 一気に引き出して固定してください。

○

チャイルドシートを固定する時、必ずシートベルトを全量引き出しALR機能に切り替えてから固定してください。

○

巻取り装置からシートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。

○

チャイルドシートに合わせて シートベルトの長さを調節し固定してください。

 警告 

チャイルドシートを取り付けしないでください。

 警告 

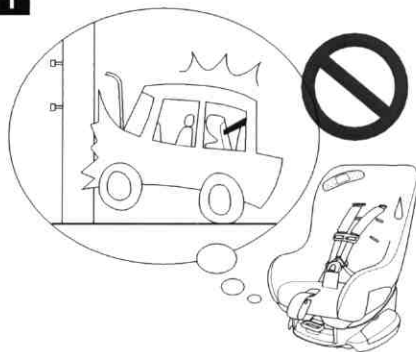
チャイルドシートを取り付けしないでください。

ご使用上の注意



警 告

1



事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。

2



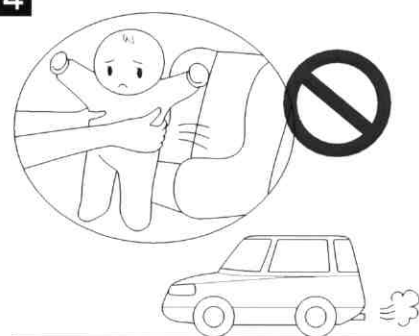
拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料（専用カバー類・ベルト類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。

3



お子さまだけを車に残した状態で車から離れないでください。
不慮の事故につながるおそれがあります。

4



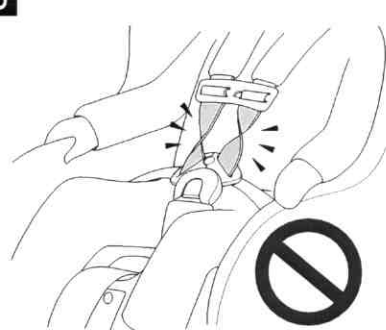
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。

5



チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。切れていたりすると、チャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。

6



ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。

7



チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じます。

8



取扱書に記載された以上の分解や、構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



警 告

9



チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

10



チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。

11



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束される様に必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に腹部が圧迫されるおそれがあります。



注 意

1



チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまが火傷をするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。

2



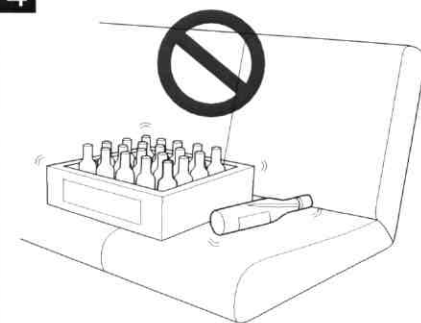
可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本品を取り付けてください。

3



チャイルドシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、ケガなどをするおそれがあります。

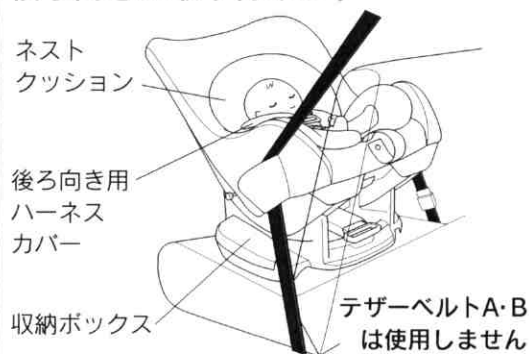
4



事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員に当るおそれがあり、危険です。

最終の取り付け状態

後ろ向きに取り付けます



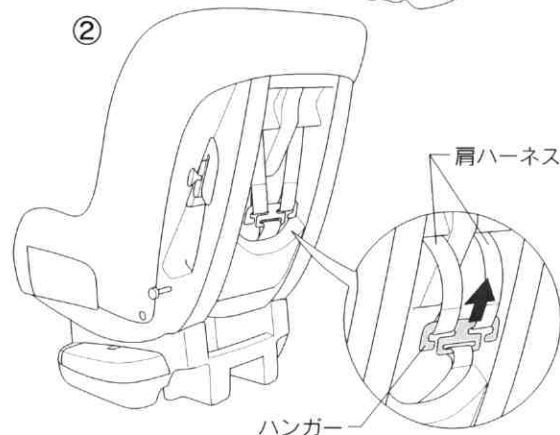
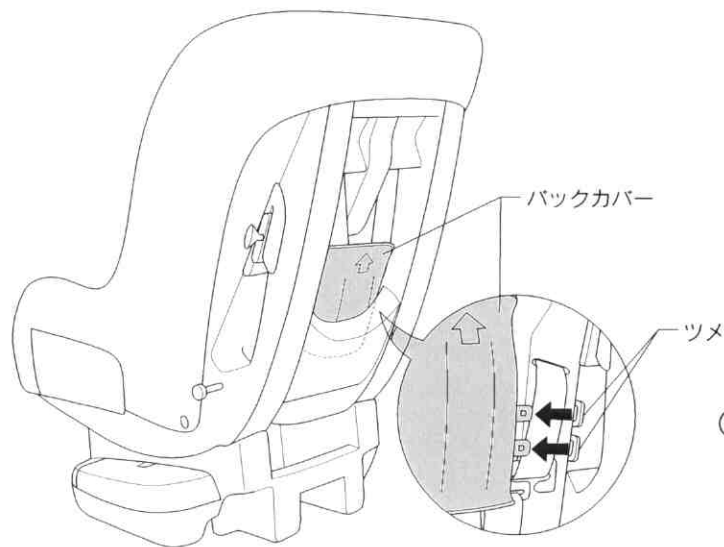
取り付け前の準備

お車への取り付け前に、必ずご確認ください。

※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できる様に、3段階の肩ハーネス通し穴がついています。お子さまの体格に合わせて、肩ハーネスの高さを調節してご使用ください。

1 バックカバーの左右どちらかのツメ2ヶ所を外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。

2 ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。



警告

- 肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります（P.1参照）。前向き用が付いている場合、必ず後ろ向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります（取り換え方法はP.57～58参照）。
- エアバッグ付きの座席には使用しないでください。事故時にエアバッグが開くことにより、重大な傷害を受けるおそれがあります。

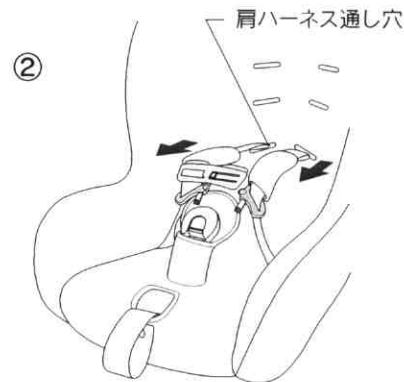
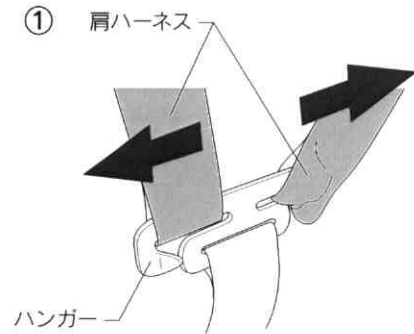
注意

後ろ向き使用時のリクライニング位置は下段（一番倒した位置）のみ使用可能です。

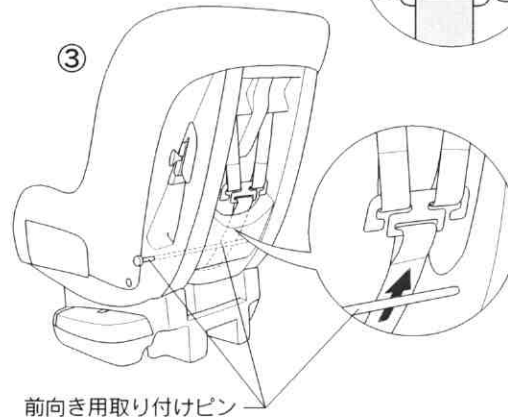
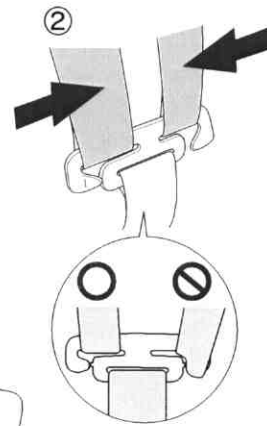
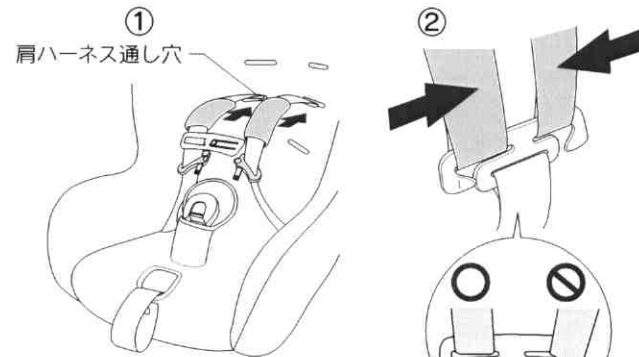
知識

- ご使用にならない前向き用肩ハーネスカバーは収納ボックスに保管してください。
- ネストクッションは、後ろ向きの時のみご使用ください。
- テザーベルトはISOFIXで取り付けた時のみご使用ください。付いている時は取り外して大切に保管してください。

- 3** ①本体後ろ側のハンガーから、片側ずつ肩ハーネスを外す。
②本体肩ハーネス通し穴の前側から抜き取る。



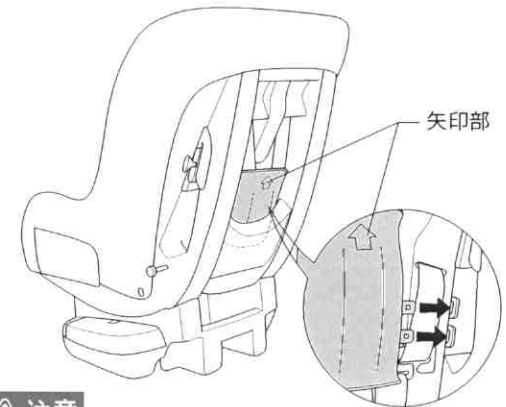
- 4** ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より低い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。
③この時、前向き用取り付けピンの内側を通す。



警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

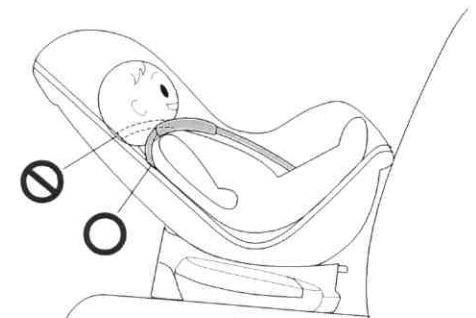
- 5** バックカバー矢印部が上にくるよう、本体にツメを引っ掛ける。



注意

確実にツメが挿入されていない場合、矢印部が上に来ない場合、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

肩ハーネス高さチェック



警告

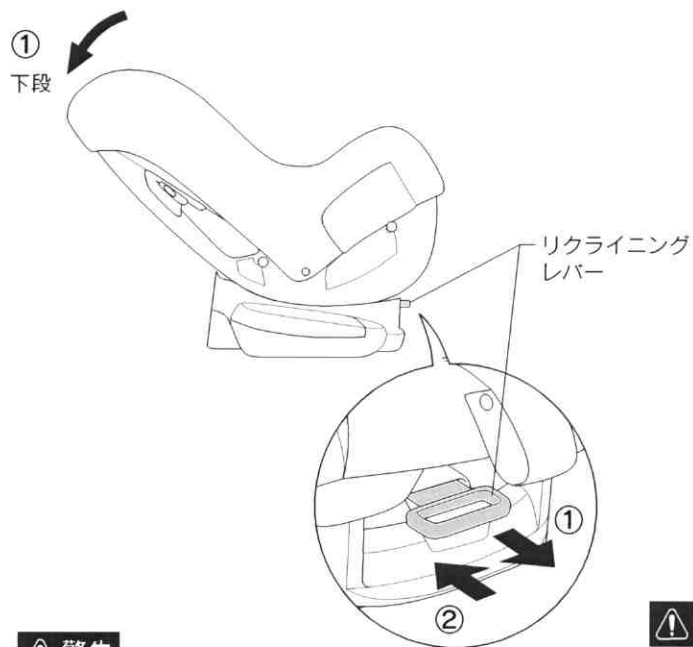
肩より高いハーネス通し穴は、使用しないでください。肩より高い位置で使用すると事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け方

ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

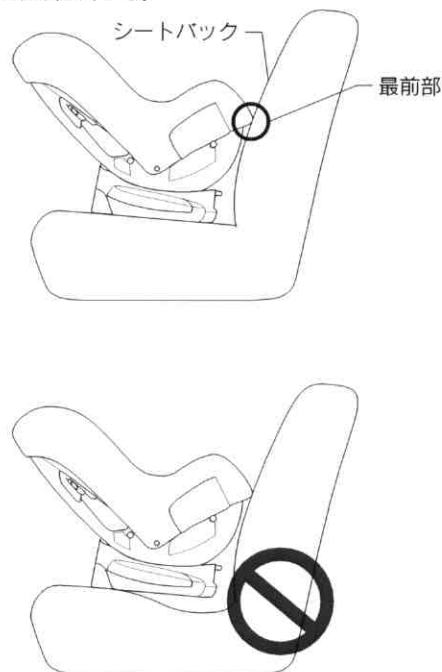
■このシートベルトは後部座席に付いておりシートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能の使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

- ① リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を下段（一番倒した位置）にセットする。
- ② リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせる。



警告
ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

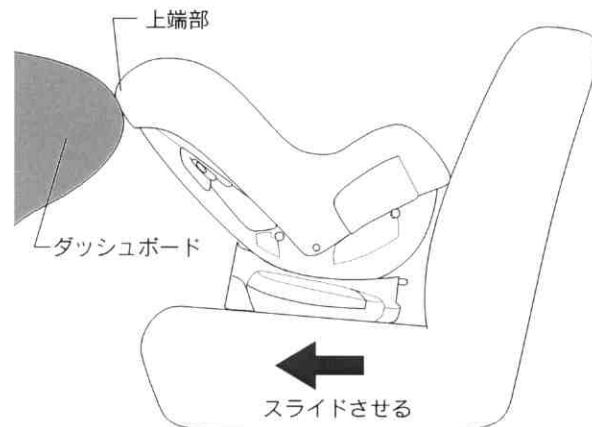
- ② チャイルドシートの最前部が座席のシートバックにぴったりつくようにチャイルドシートを自動車の座席に置く。



警告
チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタツキが生じると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

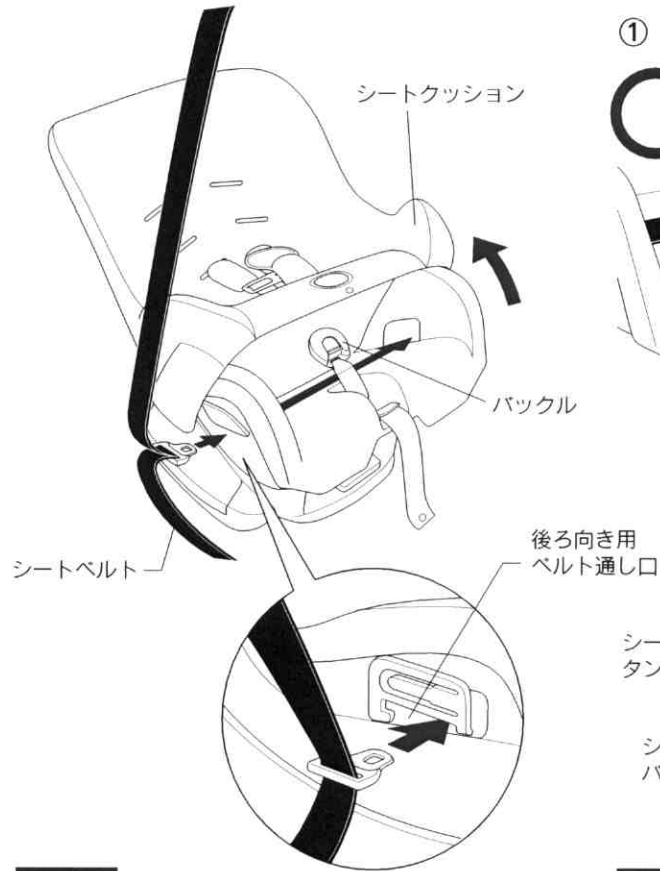


- 前後にスライドできる座席では、シートを前方にスライドさせて、チャイルドシートの上端部をダッシュボードに当ててください。
- 座席をスライドさせてもチャイルドシートの上端部がダッシュボードに当たらない場合は、座席を最後部にスライドさせてお使いください。
- シートを前後にゆすりロックされていることを確認してください。



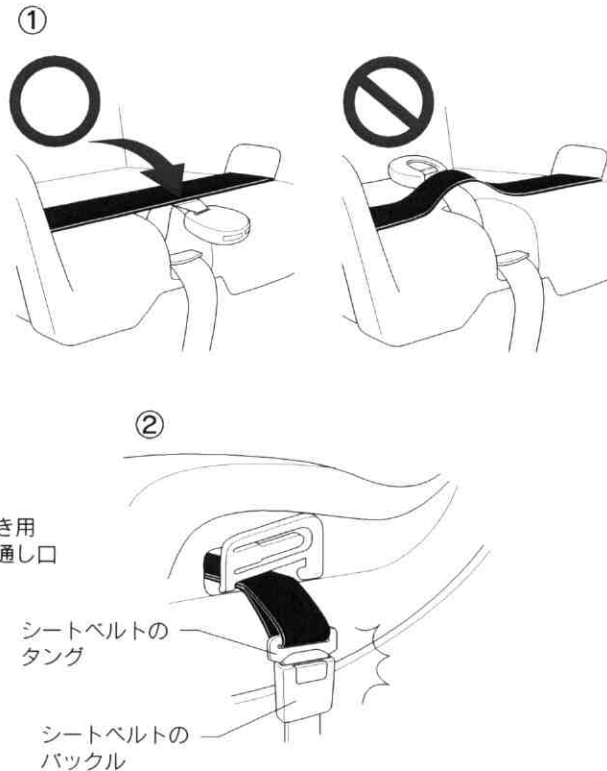
警告
エアバッグの付いている座席では使用できません。事故時にエアバッグが開くことにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 3** ①シートクッションの前部分をめくる。
②タングを外したバックルをシートクッションから抜く。
③シートベルトを 後ろ向き用ベルト通し口に通す。



後ろ向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所に使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4** ①チャイルドシートのバックルを車のシートバック側に倒す。
②シートベルトのねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込む。



股ハーネスの上にシートベルトを通さないでください。バックル位置がズれて、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 5** 肩ベルトを図に示すロックオフクリップの斜線部（イラスト）に引っ掛ける。



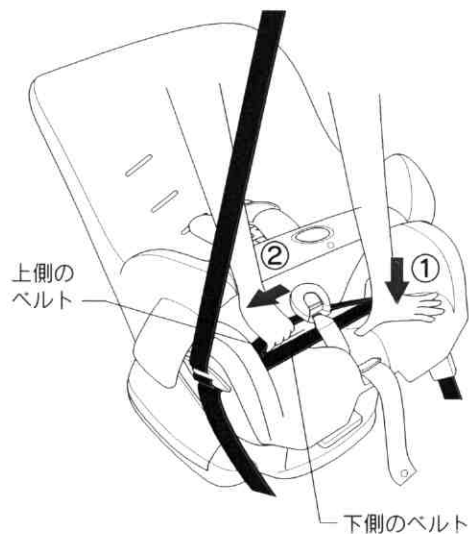
ロックオフクリップが見にくい場合、（2ドア車やRV車の後部座席など）チャイルドシートをバックル側へずらせて、ロックオフクリップにシートベルトを引っ掛けてください。その後、座面中央にチャイルドシートを戻してください。

43 9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

- 6** シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。



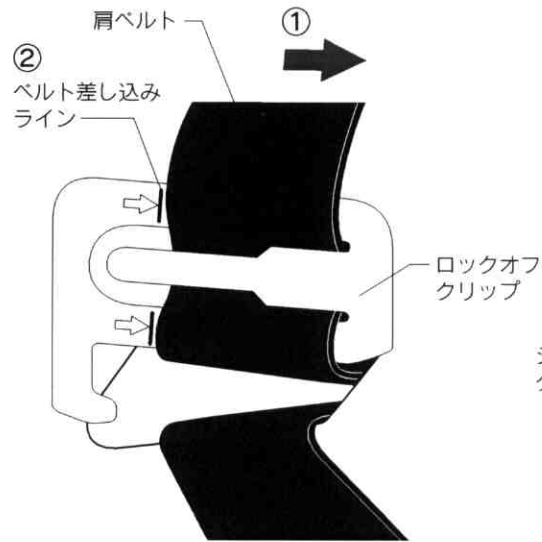
- 7** ①チャイルドシートに体重をかけ、下に強く押し付ける。
②上側のベルトを引き、下側のベルトをきつく締めつける。



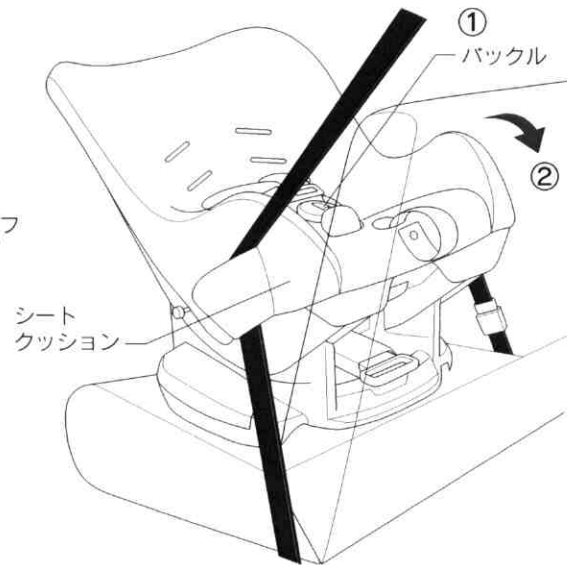
- 8** ①上側のベルトを引っ張る。
②肩ベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



- 9** ①ロックオフクリップの奥まで、肩ベルトを差し込む。
②ベルト差し込みラインが出ていることを確認する。

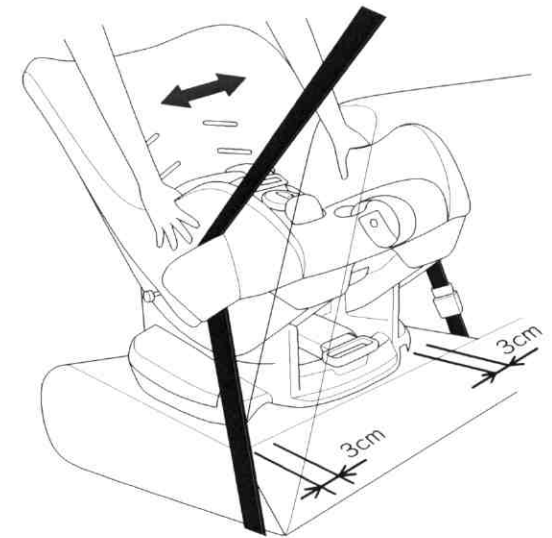


- 10** ①バックルをシートクッションの穴に通す。
②シートクッションをかぶせる。



取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が3cm以内であることです。



3cm以上動く場合は「チャイルドシートの取り付け方」(P.41) ①からやり直してください。

⚠ 警告

ベルトを奥まで差し込んでください。差し込まないと、走行中にシートベルトが緩み、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

45 9kg 未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.41～44「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～⑤、⑦～⑩の手順に従って取り付けます。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.41～44「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～⑤、⑦～⑩の手順に従って取り付けます。P.42の③の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.41～44「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～⑤、⑦～⑩の手順に従って取り付けます。このシートベルトにはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

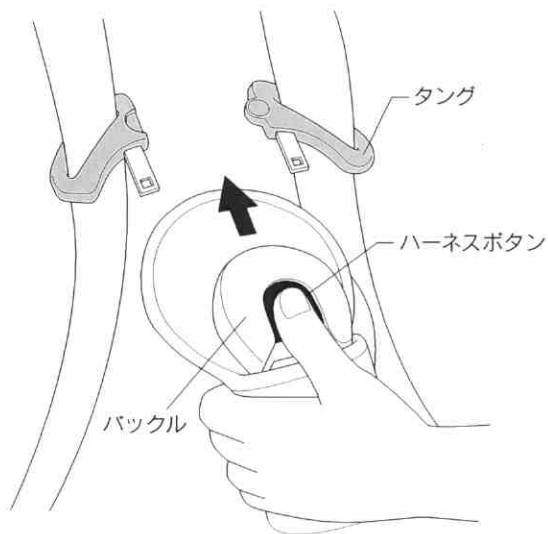
マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.41～44「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～⑤、⑦～⑩の手順に従って取り付けます。このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

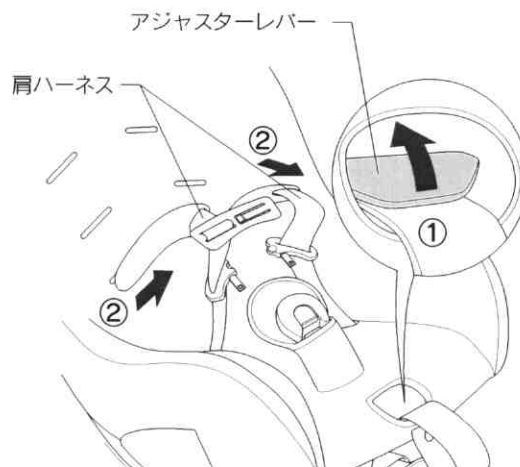
47 9kg 未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）がご使用の場合

お子さまの座らせ方

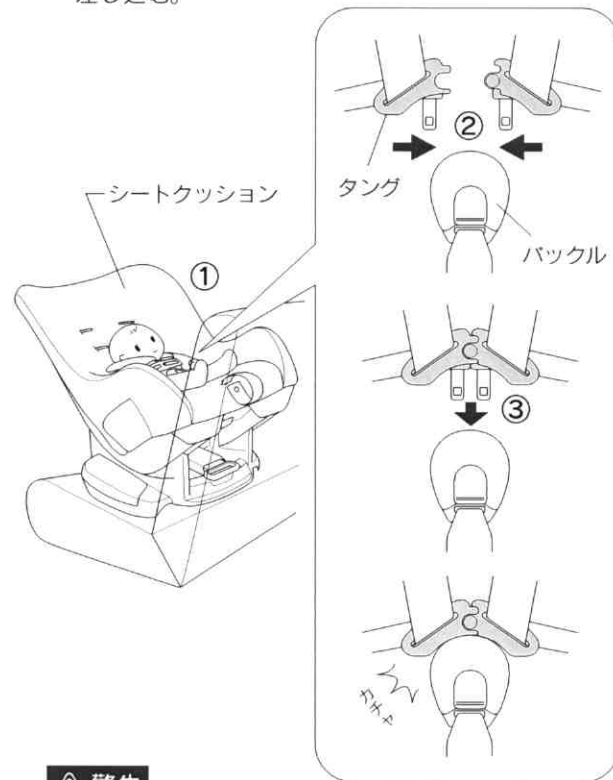
- ① チャイルドシートのハーネスボタンを押し、
タングをバックルから外す。



- ② ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。



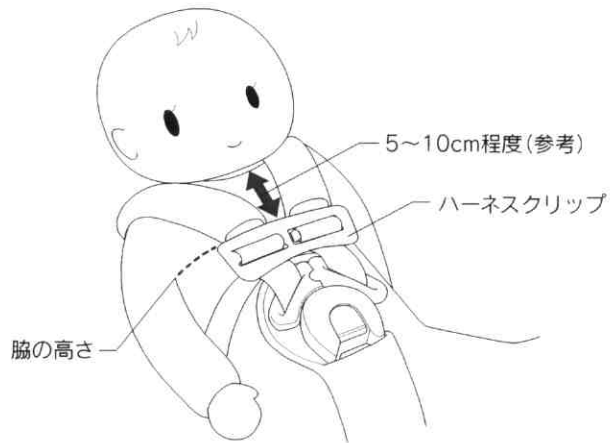
- ③ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせる。
②左右のタングをはめ合わせる。
③バックルへ「カチャ」というロック音がするまで
差し込む。



⚠ 警告

タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4 アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。
- 5 ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から5～10cm程度）。



⚠ 警告

ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれない様にしてください。
正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。
肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受けるおそれがあります。

最終の取り付け状態

前向きに取り付けます



⚠ 警告

肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります（P.1参照）。後ろ向き用が付いている場合、必ず前向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります（取り換え方法はP.57～58参照）。

⚠ 注意

前向き使用時のリクライニング位置は上段（一番起こした位置）のみ使用可能です。

🏠 知識

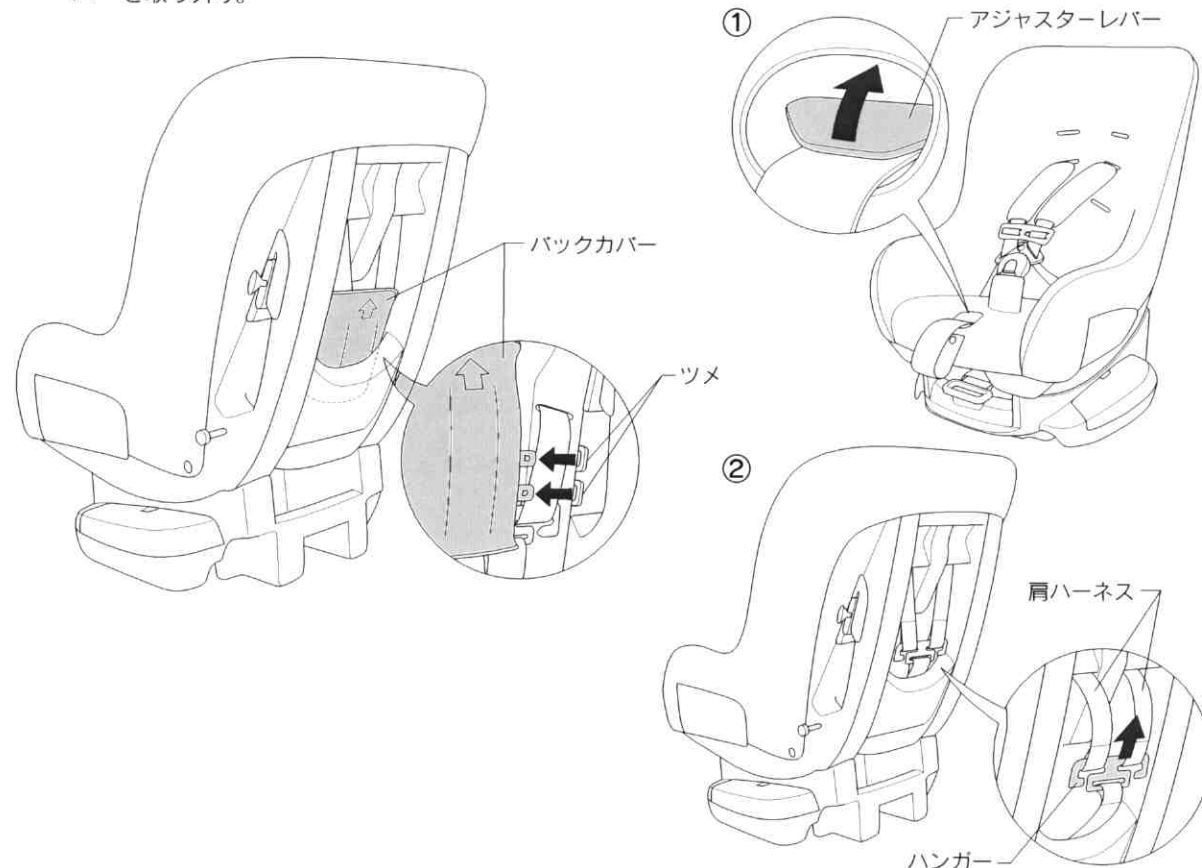
- テザーベルトはISOFIXで取り付けただけのみご使用ください。付いている時は取り外して大切に保管してください。
- ご使用にならない後ろ向き用肩ハーネスカバーは、収納ボックスに保管してください。

取り付け前の準備

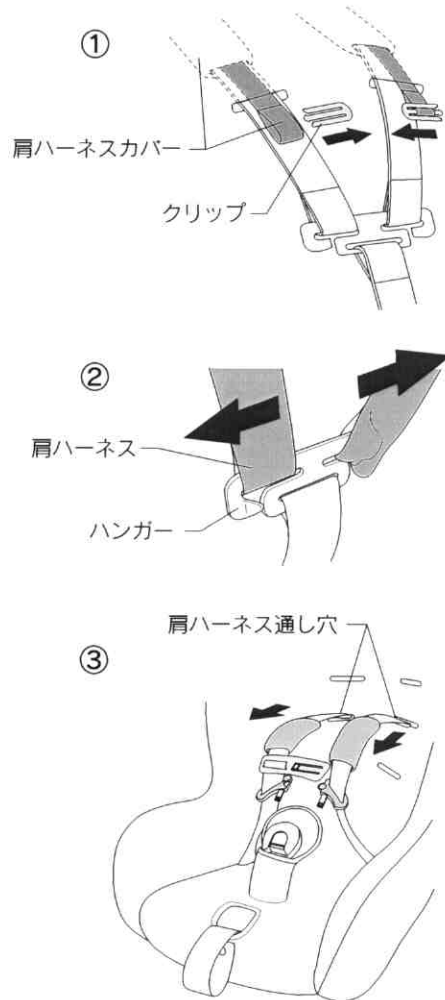
お車への取り付け前に必ず確認してください。

※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できる様に、3段階の肩ハーネス通し穴が付いています。お子さまの体格に合せて、肩ハーネスの高さを調節してご使用ください。

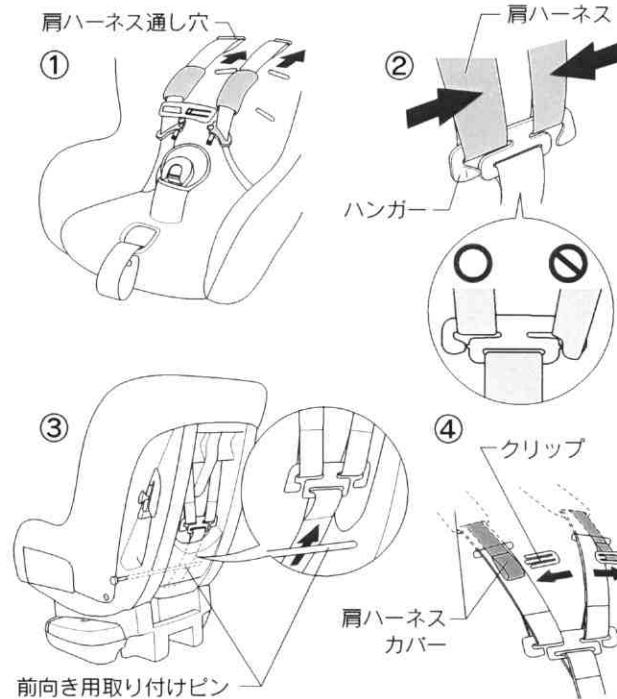
- 1 バックカバーの左右どちらか一方のツメ2ヶ所を外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。
- 2 ①アジャスターレバーを持ち上げておく。
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。



- 3** ①本体後ろ側の前向き用肩ハーネスカバーからクリップを外す。
②ハンガーから片側ずつ肩ハーネスを外す。
③肩ハーネス通し穴から抜き取る。



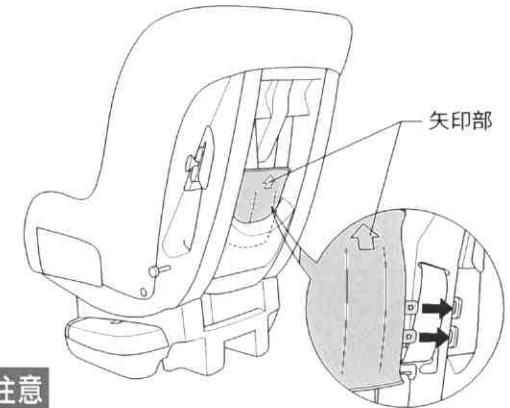
- 4** ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より高い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。
③この時、前向き用取り付けピンの内側を通す。
④前向き用肩ハーネスカバーにクリップの凸部を上にして、チャイルドシートの中心から外側に向かって取り付ける。



警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 5** バックカバー矢印部が上にくる様、本体にツメを引っ掛ける。



注意

確実にツメが挿入されていないかったり、矢印部が上でない場合、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。

肩ハーネス高さチェック



警告

肩より低いハーネス通し穴は使用しないでください。肩より低い位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け方

ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

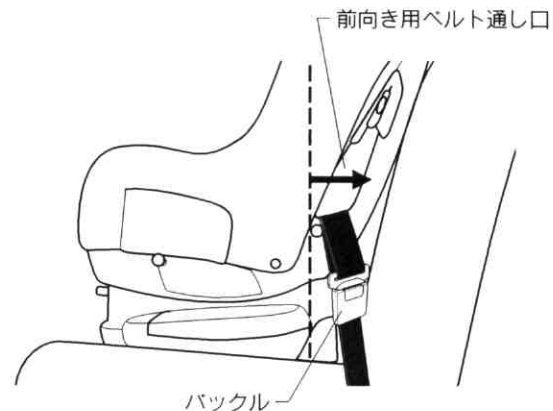
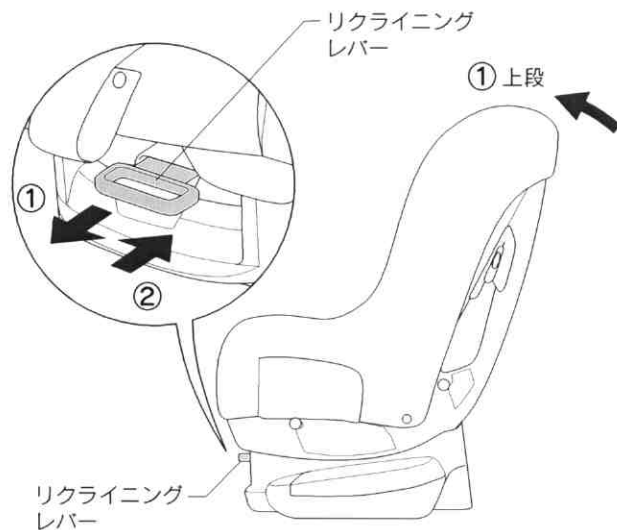
■このシートベルトは後部座席に付いており、シートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能の使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

- 1** ①リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を上段にセットする。
②リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせる。

- 2** シートフレームを座席のシートバックに当てるようにチャイルドシートを自動車の座席に置く。

知識

お車のバックル先端部が前向き用ベルト通し口より前に位置する場合、チャイルドシートをシートベルトで締め付けてもガタツキが生じ正しく取り付けられない場合があります。お車のシートバックやシートスライドを調節できる場合などは、バックルが前向き用ベルト通し口より後ろになるように位置を調整してチャイルドシートを固定してください。



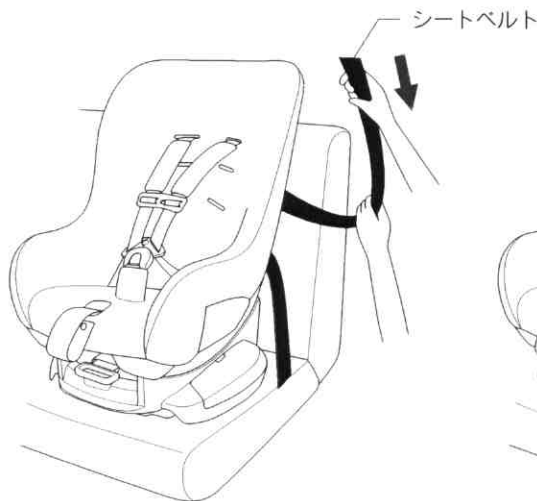
警告

ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

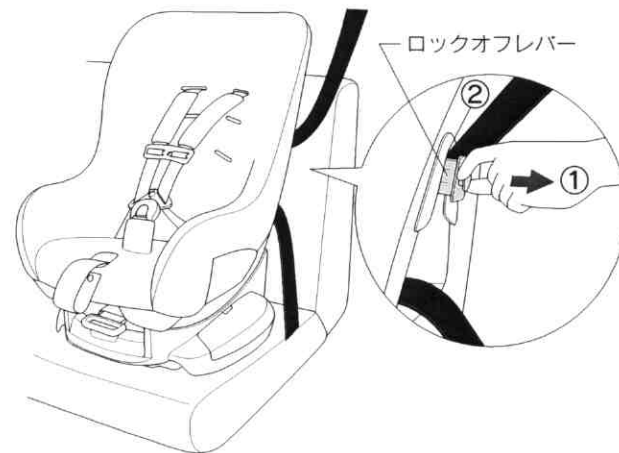
- 3** シートベルトを前向き用ベルト通し口に通し、
タングをバックルに差し込む。



- 4** シートベルトを全量引き出し、ALR機能に
切り替える。



- 5** ①ロックオフレバーを引く。
②本体側の矢印側のすき間にシートベルト
の肩ベルトを通す。



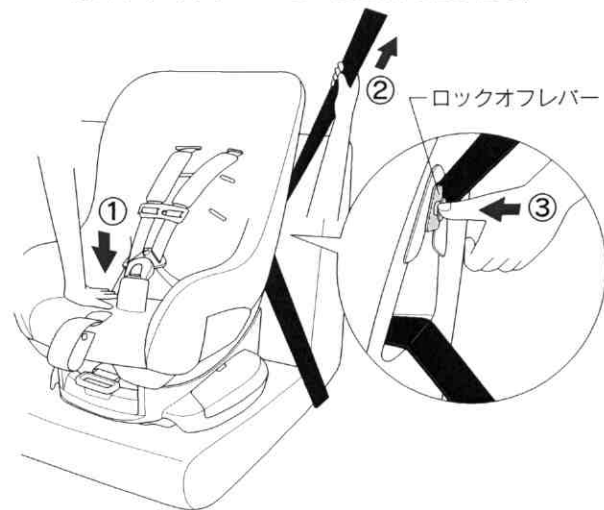
警告
前向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さ
ないでください。他の箇所に使用すると、事故時
に重大な傷害を受けるおそれがあります。



知識
ロックオフレバーを使用することにより、
ELR付3点式シートベルトでの取り付け時でも、
走行中にチャイルドシートがずれたり、動い
たりすることなく、確実に自動車の座席に固
定することができます。

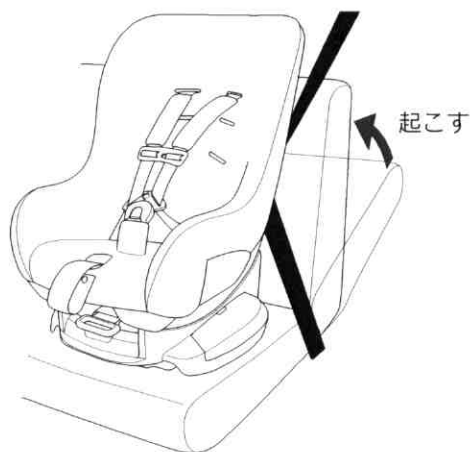
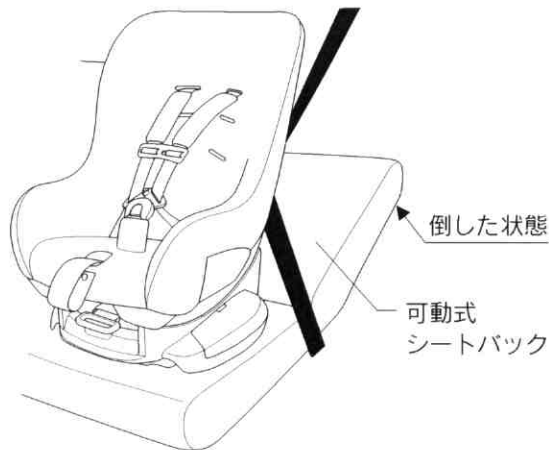
53 9kg～18kg 未満のお子さま（9ヶ月頃～4歳頃）がご使用の場合

- ⑥** ①チャイルドシートに体重をかけながら、
②車両バックル側（車内センター側）のシート
ベルトを引っ張りゆるみを取った後、肩ベル
トを強く引く。
③ロックオフレバーを一番奥まで差し込む。



知識

車両が可動式シートバックの場合は、「チャイルドシートの取り付け方」（P.51～53）①～⑥の手順で取り付け後にシートバックを起こすと容易にしっかり取り付けられます。

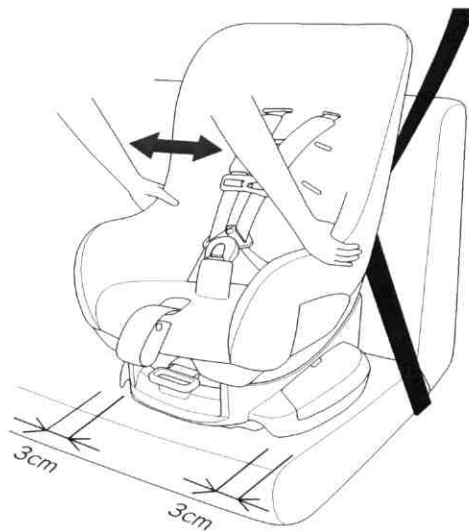


警告

ロックオフレバーを奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないと、シートベルトがゆるみ、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が3cm以内であることです。



3cm以上動く場合は「チャイルドシートの取り付け方」（P.51）①からやり直してください。

警告

チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.51～53「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～③、⑤～⑥の手順に従って取り付けます。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.51～53「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～③、⑤～⑥の手順に従って取り付けます。P.52の③の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

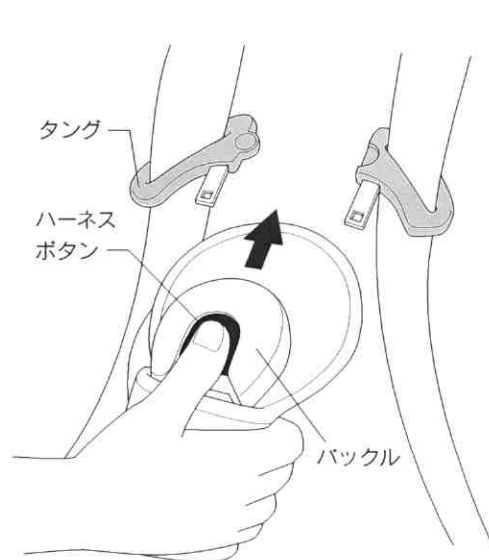
■ P.51～53「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～③、⑤～⑥の手順に従って取り付けます。このシートベルトにはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

■ P.51～53「ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～③、⑤～⑥の手順に従って取り付けます。このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱書をお読みください。

お子さまの座らせ方

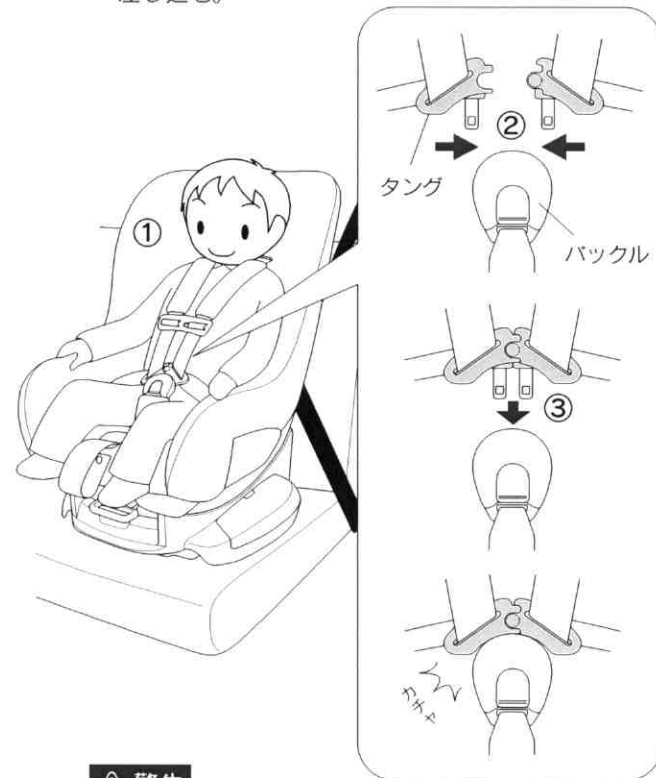
- ① チャイルドシートのハーネスボタンを押し、
タングをバックルから外す。



- ② ①アジャスターレバーを持ち上げる。
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。



- ③ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせる。
②左右のタングをはめ合わせる。
③バックルへ「カチャ」というロック音がするまで
差し込む。



⚠ 警告

タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 4 アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。



- 5 ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から5~10cm程度）。



⚠ 警告

ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれない様にしてください。
正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

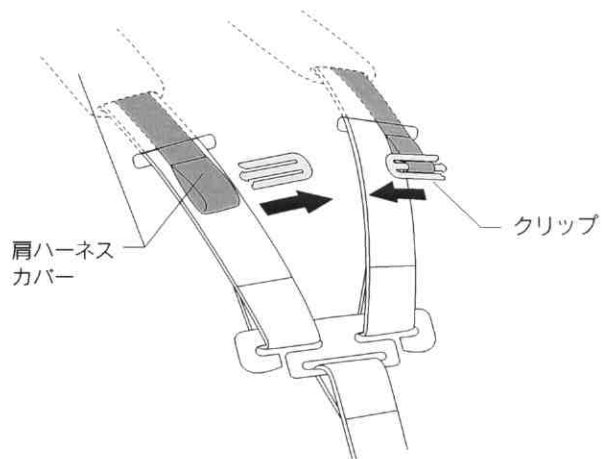
肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。
肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートカバー類の取り外し方

前向き使用時：①～⑤

後ろ向き使用時：②～⑤

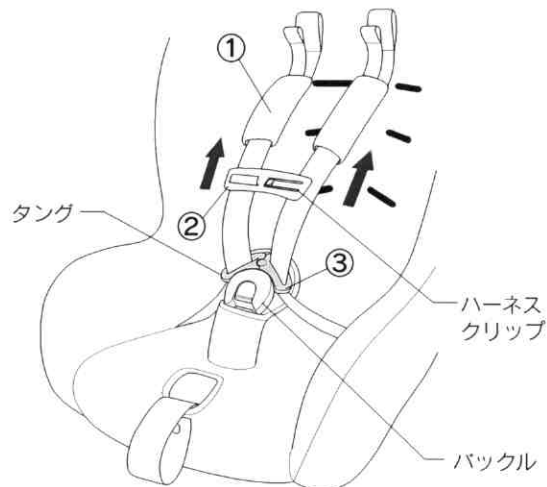
- ① 前向き用肩ハーネスカバーの場合は、クリップを肩ハーネスカバーから外す。



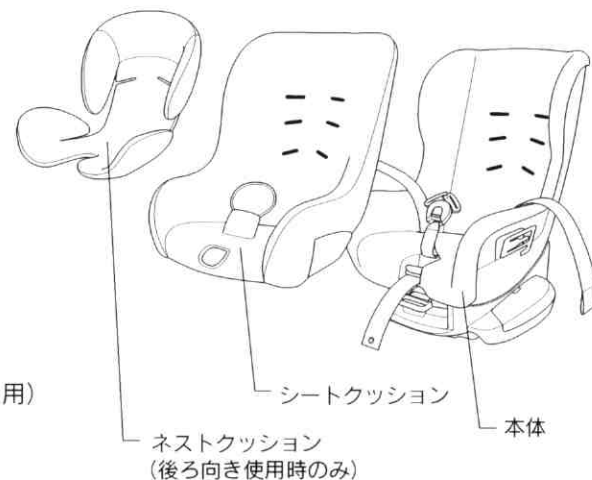
- ③ 肩ハーネス通し穴の前から抜き取る。



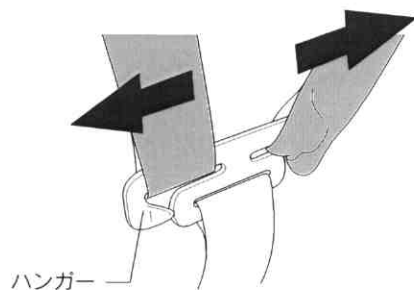
- ④ バックルにタングを差し込んだまま、
①肩ハーネスカバー（前向き用または後ろ向き用）
②ハーネスクリップ
③タングから肩ハーネスの順で抜き取る。



- ⑤ シートクッションを取り外す。



- ② 肩ハーネスを後ろ側のハンガーから片側ずつ外す。



シートカバー類の取り付け方

後ろ向き・前向きとも、取り外し方と逆の手順で各カバー類を取り付ける。

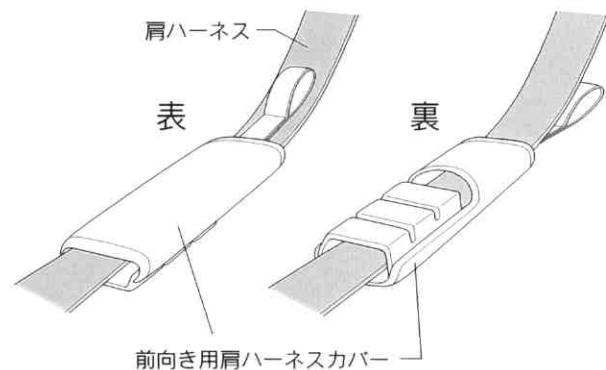
警告 ハーネスがねじれていないことをご確認ください。ねじれていると事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意 ●専用カバー以外は使用しないでください。事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。
●カバー類は、必ず取り付けて使用してください。取り付けないと、日光が当たり火傷をするおそれがあります。

知識

前向き用肩ハーネスカバーを通す場合…

図のような方法でチャイルドシート側の肩ハーネスを通してください。



知識

アジャストベルト端末の取り付け方…

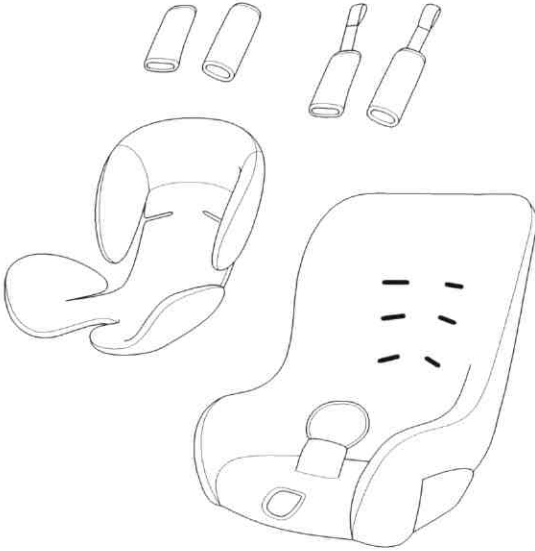
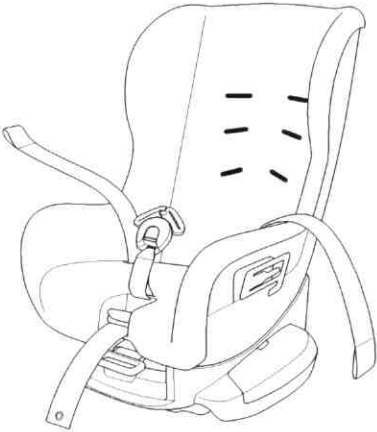
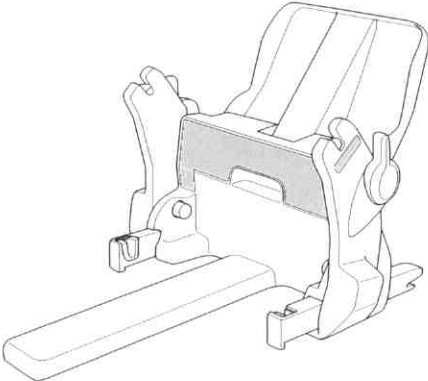


各部のお手入れについて

※シートカバー類がよごれた場合は本体から取り外し洗濯することができます（P.57～58「シートカバー類の取り外し方」参照）。

中性洗剤を使用し必ず手で押し洗いをしてください。

※シートフレーム等のプラスチック部が汚れた場合は、乾拭きか水拭きをしてください。

本体カバー類	本 体	シートベース
		
   	洗剤類を使用しないでください。 変色等のおそれがあります。	洗剤類を使用しないでください。 変色等のおそれがあります。
⚠ 注意 洗濯後は、完全に乾燥させてからお使いください。	⚠ 注意 水拭き後は、完全に乾燥させてからお使いください。	⚠ 注意 水拭き後は、完全に乾燥させてからお使いください。

補修部品について

お買い上げの販売店、もしくは弊社お客様相談センターまでご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、型式ラベルに記載されている
型式ナンバーを必ずお伝えください。



61 お手入れ方法

補修部品について

	番号	品 名	品 番	備 考
本 体	①	チャイルドシート(ISO FIX対応)	73700-30010	
	②	シートカバー	73731-30010	
	③	ハーネスカバーセット	73715-30010	前向き用ハーネスカバー×2、後ろ向き用ハーネスカバー×2のセット
	④	ネストクッション	73731-68020	
	⑤	ハーネスクリップ	73725-68010	
	⑥	クリップ	73725-68020	2個セット

	番号	品 名	品 番	備 考
ベ ー ス	⑦	シートベース	73730-30010	ベース、テザーベルトA、テザーベルトB、ガイドカップのセット
	⑧	ベース	—	
	⑨	テザーベルトA	73721-68010	前向き用
	⑩	テザーベルトB	73721-68020	後ろ向き用
	⑪	ガイドカップセット	73735-68010	2個セット

①チャイルドシート



②シートカバー



③ハーネスカバーセット



(前向き用)



(後ろ向き用)

④ネストクッション



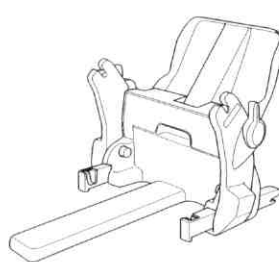
⑤ハーネスクリップ



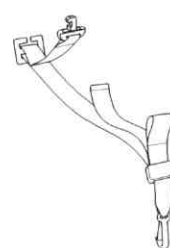
⑥クリップ



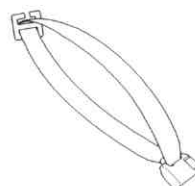
⑧ベース



⑨テザーベルトA



⑩テザーベルトB



⑪ガイドカップセット



⑦シートベース

お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**
フリーコール

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号
第2豊田ビル西館7階

オープン時間／365日 9:00～18:00

製造元 **トヨタ株式会社** 〒106-8510 東京都港区六本木1-4-30 第25森ビル